

XI 感染症発生動向調査事業報告

1. 令和5年(2023年)の総合解析(山口県感染症発生動向調査解析評価小委員会)

3月には寒さが去り、4月にはいきなり夏日、真夏日がみられるなど気候変動を実感する季節感であった。その後8、9月まで猛暑日が続き、各地で過去最多記録を更新、熱中症患者の搬送件数も急増した。10月になりようやく秋らしい気候となった。暖冬が予想されたが12月末に寒波が到来、積雪がみられる年の瀬となった。

また、これまでになく天災に苦しむ一年となり、国内各地での地震発生、さらに台風や梅雨などに関連する豪雨被害が各地で発生し「線状降水帯」という予報用語がより一般的になった。世界では8月、米国ハワイ・マウイ島で大規模な山火事があり、ラハイナ地区では壊滅的な被害と1000人を超える死者、行方不明者が出る惨事となった。11月にはアイスランドでも火山活動と関連する地震被害があった。

政情としては、ロシア・ウクライナやイスラエル・ガザでの戦争は依然収まることがなかった。

注目すべき新興感染症としてはエムボックス(サル痘)があげられた。2023年に入って報告が急増し、3月だけで55例が報告され、国内流行が懸念されたがその後は落ち着いた。しかし12月13日には国内初の患者死亡が報告された。県内ではまだ患者は確認されていない。

<新型コロナウイルス感染症について>

名前の通り、2019年末に中国武漢に端を発したCOVID-19(Coronavirus Infectious Disease, emerged in 2019)は、2020年早々よりあっという間に全世界を席卷した。その後数回にわたる流行の波を経て、ようやく落ち着き始め、2023年5月に、感染症法上の取り扱いも5類となった。疾患と共存し始めた、とのニュアンスであれば好ましいが、依然として過剰な拒否感・嫌悪感が一部に残り、逆に基本的な予防策を軽視する風潮もみられ始めるなど課題は多かった。

1. 政策などについて

3月13日よりマスク着用は本人の判断に任されることとなったが、医療機関・高齢者施設・公共交通機関などでの着用継続も併せて啓発された。

WHOは5月5日にCOVID-19の緊急事態宣言を終了すると発表した。国内では、5月8日にCOVID-19は感染症法上の新型インフルエンザ等感染症(2類相当)から5類に変更となり、これまでの「全数把握」から「定点把握」へ移行した。

5類移行以降、COVID-19の検査、治療なども5月に検査、対症療法薬が、10月には抗コロナウイルス薬が自己負担になり、段階的に国からの補助が減少した。予防接種については2023年度は無料で継続されたが2024年度以降自己負担発生の見通しである。

2. 臨床像や流行状況などについて

2023年初頭は流行の第8波でありオミクロン株の中のBA.5がその主体となったが3月にはいったん終息した。患者数はゼロにはならず少数が持続した。その後6月以降の再増加にあたって2023年末より海外で注目されていた変異株、XBBが主体となった。この流行(便宜的には、いわゆる第9波)は8月末をピークにいったん減少に転じた。8月頃より県内でもXBB系統から派生した「EG.5」が増え始め徐々に過半数となり、年末にかけていわゆる第10波が到来した。

患者数については全数報告から定点報告になったが、国から全数の時期を定点に換算した数値が示され、その後の流行状況との参考比較が可能となっている。5類移行後も夏と冬に第7, 8波よりはやや小規模であったものの大きな流行が起こったとみられる。

陽性者死亡率は、第3波の3.2%から、第4波で2.1%、第5波で0.5%と低下し、第6波～第8波では0.2～0.3%と同程度であった。患者数の増加に伴う外来や入院医療負荷が高まり死亡者数は増加したものの、発生初期に比べると重症度は低下したことがうかがえた。

2023年11月に第6回調査が行われた献血者の残余血液を用いた抗体保有状況調査では、既感染者で陽性となる抗N抗体の保有状況は、全国で56.4%、山口県は50.8%であった。その後2024年3月には全国64.5%、本県62.5%まで上昇している。

＜新型コロナウイルス以外の感染症について＞

コロナ禍の間、そのほかの流行性疾患の発生がほとんど見られない未曾有の事態が続いていたが、2023年はその反動か、多彩な急性感染症が流行する一年となった。しばらく流行がなく感受性者が増えていたことに加え、人流の制限が解かれたことと、飛沫予防策や手指衛生などについての意識がやや下がったことも一因と推定される。

インフルエンザ：2020年初頭以降2022年まではほぼゼロであったが2023年初頭よりコロナ禍以来では初めての流行が始まった。5月には全国各地の学校で100人以上の集団発生がみられた。集団免疫が落ちたことによるものと推定された。本県でも流行が確認され、当初A/H3N2型が主体であり、例年であれば終息する夏季になっても少数発生が続き、流行（定点あたりの報告数が1以上）が継続した。9月以降、再度患者数が急増し例年より2～3か月早い流行（10月以降はA/H1N1pdm09型も混在）が確認され、11月には県央部での定点あたりの報告数が県の警報開始基準値の30以上となった。12月中旬には全県としても警報レベルに達した。その後2024年5月に流行終息となるまでに約500日を要する異常事態となった。

RSウイルス感染症：2022年は秋に流行しいったん減少していたが2023年は2021年と同様の5月から8月まで流行した。夏季には全国でも最多レベルの流行となった。

咽頭結膜熱：9月から急増し年末にピークに達した。全国的にも10年ぶりの大流行と報じられた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：5月ごろから多かったが9月から急増した。翌年にかけてさらに流行が続いた。咽頭結膜熱とともに数年ぶりの大流行と報じられた。

手足口病：2021年の8月から年末にかけて流行があったが、2022年は少数、秋の流行にとどまった。2023年は6月から11月頃にかけて流行がみられた。定点の検体からはコクサッキーウイルスA6, A10が確認された。

ヘルパンギーナ：手足口病と同様、2021年は8月から年末までの流行、2022年は少数発生であったが、2023年は5月から10月にかけて流行がみられた。定点の検体からはコクサッキーウイルスA6, A10が確認された。

ヒトメタニューモウイルス感染症：2022年第44週（10/31-）以降小児科定点からの報告に含むこととなった。2022年10月、11月に流行があったがいったん終息し、2023年は6月末から10月初旬にかけて流行がみられた。

令和5年1月分の総合解析評価結果 第50週（12/12）～ 第2週（1/15）

2022年の終わりと2023年の新しい年の始まりは、新型コロナウイルス感染症の第8波とともにやってきた。2022年11月に始まったサッカーワールドカップは、カタールで行われ、スタジアムはマスクなし姿が目立つようになっていた。

新型コロナウイルスの起源とされる中国では、ゼロコロナ政策で厳しい外出制限、行動制限を行ってきたが、2022年12月7日に大幅な緩和を行い、急激な感染者数/死者数の増加を認めている。1/14の中国政府発表では12/8-1/12の新型コロナウイルス関連死は59,938人であった。春節に向かってさらなる感染者数の増加が懸念されている。

日本では、2022年から2023年にかけての年末年始は2年ぶりに行動制限のない年末年始となった。日本国内の感染者数は、1月上旬にピーク（1/6 246,632人）、死者数も少し遅れてピーク（1/14 503人）を示し、現在は減少傾向にある。1/22の時点での累積陽性者数は32,045,328人、累積死者数は65,369人に達している。高齢者施設でのクラスターの発生は少なくない。亡くなった方への納体袋の使用は必ずしも必要ではなくなるなど、亡くなった時の取り扱いを含めてゆっくりだが制限の解除が始められている。

新型コロナウイルスの特徴である新しい変異株についてはB.1.1.529系統とその亜系統（オミクロン）が主体で、その他の系統はほとんど分離されていない。オミクロンの中ではBA.5が世界的にも流行の主体であるが、10月以降BQ.1、BA.2.75の増加が認められている。北米で流行の主体の組み替え体XBB.1.5も日本国内で検出されている。これら変異株は主に免疫逃避に関する形質の変化と考えられている。

予防接種はBA.5対応のmRNAワクチンの接種が引き続いて施行され、重症化の予防効果が検討されている。生後6か月以降4歳までのワクチン接種も開始されている。

新型コロナ対策の見直しの一環として第2類から第5類への変更が検討され始めており、新規の問題となる変異株の出現を見ながら5月くらいの変更方針が政府から発表されている。

新型コロナの流行中で大流行を認めなかったインフルエンザの流行が危惧されている。現在流行はAH3で、沖縄、九州、四国、近畿での発生、コロナとの同時流行が認められている。

山口県内ではコロナの流行は全国とほぼ同様の経過をとり、重症例が一時医療資源を圧迫していたが、現状では減少傾向にある。インフルエンザの発生も見られるが、近隣の自治体に比べ発生は多くはない。ノロウイルス、hMPV肺炎などが発生しているが大きな流行には至ってはいないと考えられる。受験シーズンを控え、神経質な状況が続いている。

山口県内の流行状況

COVID-19 発生数	山口県 感染者数	全国 感染者数	山口県内(最終週)			
			重症者数	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ	軽症 無症状
11月 第42～45週（10/17～ 11/13）	14,944人	1,419,861人	0人	35人	43人	110人
12月 第46～49週（11/14～ 12/11）	22,297人	2,884,251人	3人	70人	48人	170人
1月 第50～ 2週（12/12～ 1/15）	76,712人	5,345,388人	2人	115人	65人	185人

小児科定点・基幹定点報告数（令和4年第50週～令和5年第2週）

インフルエンザ：610人 RSウイルス感染症：108人 咽頭結膜熱：24人

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：37人 感染性胃腸炎：758人 水痘：9人 手足口病：50人

伝染性紅斑：3人 突発性発疹：65人 ヘルパンギーナ：38人（コクサッキーウイルスA2検出例あり）

流行性耳下腺炎：7人 流行性角結膜炎：20人 感染性胃腸炎（ロタウイルス）：1人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等（第50～2週）

カンピロバクター腸炎：12人 病原性大腸菌腸炎VT(一)：10人 ロタウイルス胃腸炎：6人

アデノウイルス胃腸炎：6人 ノロウイルス胃腸炎：107人

アデノウイルス急性咽頭扁桃炎：55人 クラミジア呼吸器感染症：1人

ヒトメタニューモウイルス感染症(hMPV)：238人

1.2.3.4類及び5類感染症発生状況（第50～2週）

結核：10人 レジオネラ症：1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：2人

急性弛緩性麻痺(灰白髄炎を除く)：1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症：1人

侵襲性インフルエンザ菌感染症：1人 侵襲性肺炎球菌感染症：4人 梅毒：10人 百日咳：1人

解析：感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報 (12/12～1/15)

◆アデノウイルス咽頭炎：6例 ◆アデノウイルス腸炎：6例 ◆ロタウイルス性胃腸炎：2例
 ◆ノロウイルス性胃腸炎：30例 ◆hMPV 感染症：22例 ◆RS ウイルス感染症：16例
 ◆感染性胃腸炎：107例 ◆手足口病：3例 ◆突発性発疹：7例 ◆ヘルパンギーナ：9例
 ◆熱性けいれん：2例 ◆COVID-19：323例 ◆インフルエンザA型：15例 ◆PFAPA 症候群：1例 (2歳)

徳山中央病院入院患者情報 (12/21～1/20)

この1か月も入院患者は少なかった。COVID-19の帝王切開が5例あった。
 ◆COVID-19：9例(1か月3例、2か月、9か月、2歳、4歳、6歳、7歳 各1例)
 ◆hMPV 感染症：2例(気管支炎2例) ◆急性腎盂腎炎：1例(3か月男児)
 ◆川崎病2例(10か月女児、3歳男児)

山口赤十字病院情報 (12/15～1/14)

◆RSウイルス：まだ一定数はあり。入院4名 ◆インフルエンザ：少しずつ陽性者が出ている
 ◆溶連菌感染症：少数みられる。 ◆アデノウイルス：少数みられる。入院2名
 ◆感染性胃腸炎：ノロ陽性2名確認。20代女性のカンピロバクター腸炎。原因食材不明。
 ◆hMPV：減少に転じた 入院3名
 ◆COVID-19：ヘルペス歯肉口内炎と同時罹患 1名、アデノウイルス扁桃炎と同時罹患 1名

検査結果集計

	陽性	陰性	合計	陽性率 (%)
便 ロタチェック	0	6	6	0.00
便 アデノチェック	0	6	6	0.00
咽頭 アデノチェック	1	25	26	3.85
眼脂 アデノチェック	0	7	7	0.00
ストレプA(溶連菌迅速)	0	3	3	0.00
RS ウイルス	4	29	33	12.12
インフルエンザA	9	54	63	14.29
インフルエンザB	0	63	63	0.00
便 ノロウイルス	1	4	5	20.00
マイコプラズマ	0	1	1	0.00
hMPV	2	23	25	8.00

下関地域感染症サーベイランス (12/12～1/15)

◆インフルエンザ：123例(15歳以上 56例)すべてA型
 ◆VT(-)大腸菌性腸炎(血清型不明)：1例 ◆カンピロバクター腸炎：3例 ◆ノロウイルス胃腸炎：22例
 ◆ロタウイルス胃腸炎：2例 ◆アデノウイルス胃腸炎：1例
 ◆アデノウイルス扁桃炎：15例 ◆hMPV感染症：65例

＜済生会下関総合病院 入院症例＞

◆COVID-19：12例(0歳2か月～19歳) ◆ノロウイルス胃腸炎 3例(0歳6か月～1歳11か月)
 ◆急性単状細菌性腎炎：1例(3歳; Enterococcus faecalis)
 ◆hMPV 感染症：1例(1歳7か月) ◆アデノウイルス胃腸炎：1例(1歳0か月)
 ◆RS ウイルス感染症：1例(0歳3か月) ◆手足口病：1例(1歳5か月)
 ◆カンピロバクター腸炎：1例(14歳)

岩国医療センター感染症事例 (12/12～1/15)

◆COVID-19：小児例80例、成人例254 ◆RSウイルス気管支炎：1例
 ◆アデノウイルス咽頭炎：1例 ◆ノロウイルス胃腸炎：1例
 ◆hMPV感染症：11例 ◆急性胃腸炎：11例 ◆急性胃腸炎：11例
 ◆川崎病：1例
 ◆COVID-19：10歳MIS-c + 脳梁膨大部病変を合併する急性脳症

MIS-c: multisystem inflammatory syndrome in children
 (小児多系統炎症性症候群)

[1月の多報告順位]
 (○内数字は前回の順位)

- 1) ①感染性胃腸炎
- 2) ⑨インフルエンザ
- 3) ②RSウイルス感染症
- 4) ⑤突発性発疹
- 5) ③手足口病
- 6) ④ヘルパンギーナ
- 7) ⑥A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 8) ー咽頭結膜熱
- 9) ⑦流行性角結膜炎
- 10) ⑩水痘

注) 月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い(または少ない)数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会で検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年2月分の総合解析評価結果 第3週（1/16）～ 第7週（2/19）

1 月末には寒波の到来もあったが立春を過ぎると日照時間も長くなり、徐々に春の近さを感じさせる気候になってきた。

政府は1月27日、5月8日をもって新型コロナウイルス感染症を5類に引き下げることがを表明し、3月上旬にはその概要を発表する予定であると述べた。また、厚生労働省からマスク着用の考え方が示され、3月13日以降、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねられることとなった。併せて文部科学省からは卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な方針の中で、児童生徒及び教職員については、入退場、式辞・祝辞等、卒業証書授与、送辞・答辞の場面など、式典全体を通じてマスクを外すことを基本とすることなどが示された。緩和を歓迎するムードが高まる一方で、医療機関などではどのように安全な運用ができるか、日々検討、模索、苦悩が続けている。また、予防対策としてのワクチンに5～11歳のオミクロン対応ワクチンが開始されることが報道されている。

その新型コロナウイルスは、12月から1月にかけて第8波の流行があったが減少に転じ、今回の解析期間である第3～7週においては右肩下がりの推移となった。県内でも第3週には週に2万人を超す新規感染者が確認されていたが、第7週は2,332人とどまった。また、クラスターも週に40件以上発生していたものが第7週はわずか6件であった。厚生労働省や山口県が2月27日に公表したデータによると、累積感染者数は世界では6億7千万人を超え、日本では3千3百万人を超え、また山口県では31万人を超えた。世界では約11.6人に1人、日本では約3.8人に1人、また山口県では約4.3人に1人の感染割合となっている。（人口は総務省統計局2020年のデータによる。）

患者発生動向は全国においてもおおむね同様であったが、西日本は低下の度合いが鈍く、人口10万人当たりの感染者数は、中国・九州地方が上位を占める事態となっている。

海外に目を転じると、米国で2022年12月からオミクロンの新しい変異株である「XBB.1.5」が急増し、全体に占める割合が6割を超えた。この変異株が今後我が国をはじめとする諸国に広がるかどうか注目されている。

コロナ以外の疾患では、インフルエンザがコロナ禍以来初めての流行を見せており、岩国と周南で多発し、学級閉鎖の報告も散見されるが、コロナ禍以前に比べ流行の規模は小さい。A型が大半を占め、環境保健センターの検査ではAH3が検出されている。RSウイルス感染症は年末にいったん終息した後は少数で推移している。今後の推移が注目される。柳井と周南で感染性胃腸炎が多発している。小児科定点からはアデノウイルス扁桃炎とノロウイルス胃腸炎が一定数報告され、前者は宇部と下関、後者は宇部、下関、岩国から多数発生している。hMPVは岩国、周南、萩、宇部が多い。第7週に早くもSFTSの本年初例が報告された。ダニの活動期に合わせ今後増加が懸念される。

山口県内の流行状況 COVID-19 発生数	山口県 感染者数	全国 感染者数	山口県内(最終週)			
			重症者数	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ	軽症 無症状
12月 第46～49週 (11/14～ 12/11)	22,297人	2,884,251人	3人	70人	48人	170人
1月 第50～2週 (12/12～ 1/15)	76,712人	5,345,388人	2人	115人	65人	185人
2月 第3～7週 (1/16～ 2/19)	25,336人	1,670,138人	1人	27人	17人	56人

小児科定点・基幹定点報告数（第3週～第7週）

インフルエンザ：1,593人 RSウイルス感染症：70人 咽頭結膜熱：44人
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：58人 感染性胃腸炎：2,007人 水痘：12人 手足口病：17人
伝染性紅斑：1人 突発性発しん：66人 ヘルパンギーナ：13人 流行性耳下腺炎：4人
流行性角結膜炎：11人 マイコプラズマ肺炎：2人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等（第3週～第7週）

カンピロバクター腸炎：18人 病原性大腸菌腸炎VT(－)：17人 サルモネラ腸炎：2人
ロタウイルス胃腸炎：3人 アデノウイルス胃腸炎：23人 ノロウイルス胃腸炎：327人
マイコプラズマ肺炎：6人 アデノウイルス急性咽頭扁桃炎：66人
ヒトメタニューモウイルス感染症(hMPV)：73人

1.2.3.4類及び5類感染症発生状況（第3週～第7週）

結核：15人 腸管出血性大腸菌感染症：1人 重症熱性血小板減少症候群：1人 レジオネラ症：1人
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：7人 急性脳炎：2人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症：1人
後天性免疫不全症候群：1人 侵襲性インフルエンザ菌感染症：1人 梅毒：12人
バンコマイシン耐性腸球菌感染症：1人 百日咳：2人 薬剤耐性アシネトバクター感染症：1人

解析：感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報 (1/16～2/19)

◆アデノウイルス咽頭炎：11 例 ◆アデノウイルス腸炎：6 例
 ◆ノロウイルス性胃腸炎：迅速診断確認例 42 例（陽性率 90%以上） ◆hMPV 感染症：2 例
 ◆RS ウイルス感染症：16 例 ◆感染性胃腸炎：205 例 ◆突発性発疹：9 例 ◆熱性けいれん：7 例
 ◆COVID-19：143 例 ◆インフルエンザ A 型：60 例 ◆PFAPA 症候群：1 例（2 歳）
 ◆ヘルペスウイルス性歯肉口内炎：1 例 ◆水痘：2 例 ◆帯状疱疹：1 例

徳山中央病院入院患者情報 (1/21～2/20)

この 1 か月も入院患者は少なかった。COVID-19 小児の入院は減少した。

◆COVID-19：1 例（1 か月） ◆RSV 感染症：3 例（細気管支炎 2 例、気管支肺炎 1 例）
 ◆アデノウイルス腸炎：2 例（10 か月男児、6 歳男児） ◆ノロウイルス胃腸炎：1 例（10 か月女児）
 ◆ライノウイルス気管支炎：1 例（13 歳男児：先天性心疾患児） ◆急性腎盂腎炎：1 例（0 か月男児、3 歳男児）
 ◆川崎病：3 例（1 歳男児、1 歳女児、2 歳男児）
 ◆熱性けいれん：4 例（10 か月男児、11 か月男児、1 歳男児、2 歳女児）。

山口赤十字病院情報 (1/15～2/14)

◆インフルエンザ：陽性 12 名 小中学生が多かった。特定の校区での流行確認。
 ◆アデノウイルス：少数みられる。入院 2 名
 ◆感染性胃腸炎：ノロウイルス陽性者 1 名（入院 3 歳 4 か月男児）
 ◆川崎病：2 名。（2 歳 1 か月児と 4 歳 2 か月児。後者はIVIg 不応にて山大転院）

検査結果集計

	陽性	陰性	合計	陽性率 (%)
便 ロタチェック	0	8	8	0.00
便 アデノチェック	0	7	7	0.00
咽頭 アデノチェック	2	12	14	14.29
眼脂 アデノチェック	0	6	6	0.00
ストレプト A (溶連菌迅速)	0	2	2	0.00
RS ウイルス	0	15	15	0.00
インフルエンザ A	12	140	152	7.89
インフルエンザ B	0	152	152	0.00
便 ノロウイルス	1	9	10	10.00
マイコプラズマ	0	1	1	0.00
hMPV	0	13	13	0.00
SARS-CoV2	17	136	153	11.11

下関地域感染症サーベイランス (1/16～2/19)

◆インフルエンザ：366 例（15 歳以上 48 例）すべて A 型
 ◆VT (-) 大腸菌性腸炎 (O86a)：1 例 ◆カンピロバクター腸炎：7 例 ◆サルモネラ腸炎：1 例
 ◆ノロウイルス胃腸炎：120 例 ◆ロタウイルス胃腸炎：1 例 ◆アデノウイルス胃腸炎：9 例
 ◆アデノウイルス扁桃炎：12 例 ◆hMPV 感染症：6 例 ◆ヘルペス歯肉口内炎：1 例

済生会下関総合病院 入院症例

◆ノロウイルス胃腸炎：7 例（1 歳 0 か月～3 歳） ◆COVID-19：6 例（0 歳 2 か月～17 歳）
 ◆川崎病：3 例（0 歳 4 か月～3 歳） ◆尿路感染症：2 例（2 歳 2 か月：Providencia rettgeri、4 歳：E. coli）
 ◆細菌性気道感染症：2 例（1 歳 2 か月：PSSP、1 歳 0 か月：BLNAS） ◆突発性発疹：1 例（2 歳 3 か月）
 ◆RS ウイルス感染症：1 例（4 歳） ◆SSSS：1 例（3 歳：MRSA）

岩国医療センター感染症事例 (1/16～2/19)

◆インフルエンザ A 型：42 例（小児例）
 ◆COVID-19：小児例 30 例（内急性脳症脳梁膨大部病変を伴う急性脳症 1 例）
 ◆EB ウイルス感染症：1 名 ◆RS ウイルス感染症：1 例
 ◆アデノウイルス感染症：2 例 ◆サイトメガロウイルス感染症：1 例
 ◆ノロウイルス感染症：1 例 ◆胃腸炎：32 例 ◆川崎病：1 例（3 歳）
 ◆突発性発疹に伴う急性脳症 (AESD)：1 例
 ◆インフルエンザ A 陽性脳症疑い：1 例

〔2 月の多報告順位〕
 (○内数字は前回の順位)
 1) ①感染性胃腸炎
 2) ②インフルエンザ
 3) ③RS ウイルス感染症
 4) ④突発性発疹
 5) ⑦A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎
 6) ⑧咽頭結膜熱
 7) ⑤手足口病
 8) ⑥ヘルパンギーナ
 9) ⑩水痘
 10) ⑨流行性角結膜炎

PSSP: penicillin-susceptible streptococcus pneumonia (ペニシリン感受性肺炎球菌)

SSSS: staphylococcal scalded skin syndrome (ブドウ球菌性熱傷剥皮症候群)

BLNAS: β -lactamase negative ampicillin resistant (β -ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性)

MRSA: methicillin-resistant staphylococcus aureus

注) 月報中の患者報告数・定点当たり報告数について週報において、
 定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小
 委員会にて検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年3月分の総合解析評価結果 第8週(2/20)～第10週(3/12)

厳しかった冬の寒さも終わり春らしい穏やかな日々が続いた。

コロナの規制に関しては大幅な規制緩和が行われた。マスクの着用は3月13日から本人に委ねられた。文部科学省からの通達では学校における規制について事細かに表現されている。卒業式においては卒業生および学校の先生方のマスクの着用は原則必要なしとなっている。4月からの学校生活におけるマスク着用は求めない方針である。3年間におよぶマスクの着用は感染予防とは別に子どもたちの学校生活、保育園、幼稚園生活における行事やコミュニケーションに不利益な影響を及ぼしたと考えられる。今後の検証が待たれる。なお、医療機関・高齢者施設等や混雑した電車やバスなどではマスクの推奨が続けられる。新型コロナの第8波は全国的に終息に向かうかのごとく大幅に発生数が減少していて、山口県では第10週での一週間の新規感染者数は1,022で前週から約20.5%の減少となっている。(なお、第11週では一週間の新規感染者数が805人で、1,000人を下回るのは昨年6月下旬以来。)ゲノムサーベイランスは継続して行われているが、現在のところ懸念されるオミクロン株亜系統の増加は見られていない。(1月:第50～2週の期間でBA.2.75系統が18件、CH.1.1系統が4件、BF.7系統が23件、BQ.1系統が12件検出。2月:第3～7週の期間でBA.2.75系統が22件、CH.1.1系統が2件、BF.7系統が21件、BQ.1系統が17件検出。3月:第8～10週の期間でBA.2.75系統が10件、CH.1.1系統が3件、BF.7系統が16件、BQ.1系統が4件検出。)新型コロナウイルスの3/21公表の全国の新規発生数は8,683人、山口県の新規発生数は169人である。

インフルエンザの流行が3年ぶりにおこっている。大きな流行にはなっていない。流行株はA香港H3N2で、他にB型も検出されている。岩国、長門が多い。RSウイルス感染症は極めて少ない。感染性胃腸炎は多発していて、ノロウイルス胃腸炎の占める割合が高い。ノロウイルスはGⅡ2、GⅡ3、GⅡ4が検出されている。水痘は極めて少ない。性器クラミジア感染症は28人、淋菌感染症は9人、MRSA感染症は22人であった。

山口県内の流行状況

COVID-19 発生数	山口県 感染者数	全国 感染者数	山口県内(最終週)			
			重症者数	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ	軽症 無症状
1月 第50～2週(12/12～1/15)	76,712人	5,345,388人	2人	115人	65人	185人
2月 第3～7週(1/16～2/19)	25,336人	1,670,138人	1人	27人	17人	56人
3月 第8～10週(2/20～3/12)	3,948人	232,421人	1人	12人	12人	23人

小児科定点・基幹定点報告数(第8週～第10週)

インフルエンザ:1,690人 RSウイルス感染症:29人 咽頭結膜熱:19人
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:34人 感染性胃腸炎:1,183人 水痘:5人 手足口病:2人
伝染性紅斑:1人 突発性発疹:43人 ヘルパンギーナ:17人 流行性耳下腺炎:3人
流行性角結膜炎:2人 無菌性髄膜炎:1人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等(第8週～第10週)

カンピロバクター腸炎:4人 病原性大腸菌腸炎VT(一):26人 ロタウイルス胃腸炎:1人
アデノウイルス胃腸炎:8人 ノロウイルス胃腸炎:128人
マイコプラズマ肺炎:1人 アデノウイルス急性咽頭扁桃炎:41人
ヒトメタニューモウイルス感染症(hMPV):24人

1.2.3.4類及び5類感染症発生状況(第8週～第10週)

結核:12人 レジオネラ症:1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:2人
後天性免疫不全症候群:1人 侵襲性肺炎球菌感染症:1人 梅毒:9人
播種性クリプトコックス症:1人 バンコマイシン耐性腸球菌感染症:1人

解析:感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報 (2/20～3/13)

◆アデノウイルス咽頭炎:5例 ◆ノロウイルス性胃腸炎:25例 ◆hMPV感染症:5例
◆RSウイルス感染症:5例 ◆感染性胃腸炎:117例 ◆突発性発疹:5例 ◆COVID-19:12例
◆インフルエンザA型:6例 ◆カンピロバクター腸炎:2例

徳山中央病院入院患者情報 (2/21～3/20)

この1か月も入院患者は少なかった。呼吸器パネルでパラインフルエンザ感染症が2例みられた。

- ◆インフルエンザB：1例（3歳女児）
- ◆パラインフルエンザウイルス感染症：2例（1歳男児：3型、1か月男児：4型）
- ◆エプスタインバー（EB）ウイルス感染症：1例（7歳男児） ◆川崎病：2例（1歳女児、3歳女児）
- ◆熱性けいれん：4例（1歳男児、1歳女児2例、2歳男児）
- ◆穿孔性虫垂炎＋限局性腹膜炎：1例（7歳男児） ◆IgA血管炎2例（2歳男児、6歳男児）

山口赤十字病院情報 (2/15～3/14)

- ◆RSウイルス：少数発生あり ◆インフルエンザ：先月より少ないが少数あり
- ◆アデノウイルス：少数みられる。入院1名 ◆感染性胃腸炎：ノロウイルスやや増加の印象。ロタウイルスもあり。
- ◆ヒトメタニューモウイルス：再度散見されるようになってきた
- ◆川崎病：3名（6歳男児：IVIg2クールを要した、8か月女児：1クールで軽快した。叔父にMCLS既往。2歳女児：1クールで軽快した。）

検査結果集計

	陽性	陰性	合計	陽性率 (%)
便 ロタチェック	0	9	9	0.00
便 アデノチェック	0	3	3	0.00
咽頭 アデノチェック	1	22	23	4.35
眼脂 アデノチェック	0	5	5	0.00
ストレプトA（溶連菌迅速）	0	0	0	—
RS ウイルス	1	24	25	4.00
インフルエンザA	2	114	116	1.72
インフルエンザB	0	116	116	0.00
便 ノロウイルス	3	7	10	30.00
マイコプラズマ	0	2	2	0.00
hMPV	3	17	20	15.00
SARS-CoV2	8	114	122	6.56

下関地域感染症サーベイランス (2/20～3/12)

- ◆インフルエンザ：265例（15歳以上 44例）ほぼA型 全年齢でB型6例
- ◆VT(-)大腸菌性腸炎（0-1、0-6、0-26）：各1例 ◆カンピロバクター腸炎：1例
- ◆ノロウイルス胃腸炎：59例 ◆ロタウイルス胃腸炎：1例 ◆アデノウイルス胃腸炎：7例
- ◆アデノウイルス扁桃炎：19例 ◆hMPV感染症：2例 ◆ヘルペス歯肉口内炎：1例

＜済生会下関総合病院 入院症例＞

- ◆ノロウイルス胃腸炎：2例（0歳6か月、2歳7か月） ◆突発性発疹：2例（0歳8か月、1歳10か月）
- ◆細菌性気道感染症：2例（9歳、1歳5か月：BLNAS） ◆RSウイルス感染症：1例（1歳6か月）
- ◆カポジ水痘様発疹症：1例（0歳8か月） ◆インフルエンザ：1例（7歳）

岩国医療センター感染症事例 (2/20～3/12)

- ◆COVID-19：6例 ◆インフルエンザA：43例 ◆hMPV感染症：2例 ◆急性胃腸炎：17例
- ◆川崎病：2例 ◆アデノウイルス感染症：2例
- ◆急性脳症：インフルエンザ脳症2例（AESD 1例、分類不能1例（Covid-19の時も脳症罹患））
- ◆HHV-6脳炎：1例 ◆先天梅毒：1例 ◆CMV感染：1例 ◆ヘリコバクターピロリ萎縮性胃炎：1例
- ◆急性巣状細菌性腎炎：1例

COVID-19激減、インフルエンザAの流行がみられています。

BLNAS：β-lactamase negative ampicillin resistant
（β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性）

注）月報中の患者報告数・定点当たり報告数について
週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が
報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会で
検討を行い再集計した結果を掲載しています。

- [3月の多報告順位]
(○内数字は前回の順位)
- 1) ②インフルエンザ
 - 2) ①感染性胃腸炎
 - 3) ④突発性発疹
 - 4) ⑤A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
 - 5) ③RSウイルス感染症
 - 6) ⑥咽頭結膜熱
 - 7) ⑧ヘルパンギーナ
 - 8) ⑨水痘
 - 9) ⑩流行性角結膜炎
 - 10) ⑦手足口病

令和5年4月分の総合解析評価結果 第11週（3/13）～ 第15週（4/16）

穏やかな気候に恵まれ、新年度がスタートしたが、4月13日をピークに、全国的に黄砂に見舞われた。その後、気温が上昇し、4月にもかかわらず、多くの地域で夏日を記録し、10地点では真夏日を記録した。入学式や入社式の様子を見るとコロナ以前の状態に戻りつつあるのを実感させられる。

新型コロナウイルス感染症は第8波が収束し、下げ止まった後、感染者数は全国で1日1万人前後の状態が続いている。専門家会合『アドバイザリーボード』は大都市部で20代や10代以下を中心に緩やかな増加みられるとしている。今後の感染予測としては横ばいから緩やかな増加が続く可能性があり、これまでの傾向を踏まえると接触機会が多くなる大型連休が明けた後で感染が拡大し、いったん減少するものの、再び夏に向けて感染拡大が起きる可能性があるとしている。その根拠として、①ワクチンや感染でできた免疫が時間と共に下がっていくこと、②免疫を回避する新たな変異ウイルスの割合が増えることなどをあげている。

5月8日から新型コロナの感染症法上の位置づけが『5類』に移行し、報告も『全数把握』から、指定医療機関が週に1回報告する『定点報告』に切り替わる。しかしながら、地域での感染状況に関心を持ち、自主的に感染を防ぐための行動をとって特に重症化リスクの高い高齢者に感染が及ばないようにする配慮が重要だとしている。感染を防ぐための『5つの基本』は、①自宅療養と適切な医療機関の受診、②マスク・せきエチケット、③密回避・換気、④手洗い、⑤適度な運動・食事である。要入院症例はこれまで全例が県の管理のもとに調整されていたが、今後は地域の医療体制の中で調整が行われる体制に切り替わる。ただし地域のみで入院調整が整わない場合、県の関与の下、コロナ病床へ入院調整する制度は一部残る。5月からは重症化リスクの高い人（高齢者と基礎疾患を有する方）と医療従事者を対象にワクチン接種が始まるので、積極的な接種が望まれる。

今後、もう一つ注目すべきはサル痘である。今年に入って、報告が急増し、厚生労働省の公表によると3月だけで55例となり、国内流行が懸念される事態になっている。大都会を中心に9都府県から報告があり、「渡航歴なし」が93.9%、全例が男性で、年齢は平均33歳（20～66歳）。症状は発疹87.8%、発熱69.5%、リンパ節腫脹34.3%、倦怠感24.4%、頭痛12.2%、咽頭痛9.8%、肛門直腸痛7.3%。

山口県内の流行状況 COVID-19 発生数	山口県 感染者数	全国 感染者数	山口県内(最終週)			
			重症者数	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ	軽症 無症状
2月 第3～7週（1/16～2/19）	25,336人	1,670,138人	1人	27人	17人	56人
3月 第8～10週（2/20～3/12）	3,948人	232,421人	1人	12人	12人	23人
4月 第11～15週（3/13～4/16）	2,939人	256,596人	0人	2人	6人	12人

小児科定点・基幹定点報告数（第11週～第15週）

インフルエンザ：1,592人（岩国、下関で多い） RSウイルス感染症：149人（下関、周南で増加傾向）
咽頭結膜熱：27人 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：94人（周南、下関で多い） 感染性胃腸炎：965人
水痘：15人 手足口病：6人伝染性紅斑：2人 突発性発疹：85人 ヘルパンギーナ：38人
流行性耳下腺炎：4人流行性角結膜炎：12人 マイコプラズマ肺炎：1人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等（第11週～第15週）

カンピロバクター腸炎：21人 病原性大腸菌腸炎VT(一)：16人 サルモネラ腸炎：3人
アデノウイルス胃腸炎：4人 ノロウイルス胃腸炎：67人 アデノウイルス急性咽頭扁桃炎：93人
ヒトメタニューモウイルス感染症(hMPV)：98人

1.2.3.4類及び5類感染症発生状況（第11週～第15週）

結核：14人 重症熱性血小板減少症候群：1人 日本紅斑熱：1人 レジオネラ症：2人
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：5人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症：1人
侵襲性インフルエンザ菌感染症：1人 侵襲性肺炎球菌感染症：2人 梅毒：10人

解析：感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報（3/13～4/16）

◆アデノウイルス咽頭炎：16例 ◆ノロウイルス性胃腸炎：12例 ◆hMPV感染症：12例
◆RSウイルス感染症：4例 ◆感染性胃腸炎：118例 ◆突発性発疹：10例 ◆COVID-19：13例
◆インフルエンザA型：49例 ◆カンピロバクター腸炎：1例

徳山中央病院入院患者情報（3/21～4/20）

4月に入って、少し入院患者が増加傾向にある。RSウイルス感染症が増加傾向にある。呼吸器パネルではパラインフルエンザウイルス3型や4型が検出されている。

- ◆COVID-19：2例(3か月、3歳) ◆RSウイルス感染症：4例(細気管支炎：4例)
- ◆アデノウイルス咽頭扁桃炎：1例(2歳女児) ◆アデノウイルス腸炎：1例(7歳男児)
- ◆溶連菌感染症：2例(2歳女児、4歳女児) ◆急性腎盂腎炎：2例(3か月男児、11歳女児)
- ◆川崎病：1例(11か月女児) ◆左大腿部蜂巣炎：1例(11か月男児)
- ◆右急性化膿性耳下腺炎：1例(1か月女児、MSSA)
- ◆急性虫垂炎1例(10歳男児、Tip appendicitisで保存療法で軽快)
- ◆熱性けいれん7例(11か月1例、1歳2例、2歳3例、3歳1例)

山口赤十字病院情報 (3/15～4/14)

- ◆RSウイルス：少数発生あり ◆インフルエンザ：少数あり ◆アデノウイルス：少数みられる。入院1名
- ◆感染性胃腸炎：少数あり ◆ヒトメタニューモウイルス：少数あり
- ◆川崎病：1名 7歳女児：IVIg 2クールを要した

検査結果集計

	陽性	陰性	合計	陽性率 (%)
便 ロタチェック	0	9	9	0.00
便 アデノチェック	0	6	6	0.00
咽頭 アデノチェック	1	21	22	4.55
眼脂 アデノチェック	0	5	5	0.00
ストレップA(溶連菌迅速)	1	3	4	25.00
RSウイルス	2	24	26	7.69
インフルエンザA	5	139	144	3.47
インフルエンザB	0	144	144	0.00
便 ノロウイルス	2	9	11	18.18
マイコプラズマ	0	2	2	0.00
hMPV	0	19	19	0.00
SARS-CoV2	4	149	153	2.61

下関地域感染症サーベイランス (3/13～4/16)

- ◆インフルエンザ：511例(15歳以上35例) ほぼA型 全年齢でB型2例
2/27、3/6のA陽性検体でA香港型確認、3/9のB陽性検体でビクトリア系統確認
- ◆VT(-)大腸菌性腸炎 0-25：1例、血清型不明：2例 ◆カンピロバクター腸炎：11例
- ◆ノロウイルス胃腸炎：21例 ◆サルモネラ腸炎(04群)：1例 ◆アデノウイルス胃腸炎：1例
- ◆アデノウイルス扁桃炎：30例 ◆hMPV感染症：7例 ◆ヘルペス歯肉口内炎：3例

＜済生会下関総合病院 入院症例＞

- ◆細菌性気道感染症：7例(1歳11か月～4歳：BLNAS:5例、BLNAI:2例)
- ◆RSウイルス感染症：5例(0歳7か月～3歳) ◆川崎病：3例(2歳8か月、4歳、5歳)
- ◆急性腎盂腎炎：3例(0歳6か月：E. faecalis、0歳4か月：E. coli、0歳10か月：E. cloacae)
- ◆ヘルパンギーナ：2例(1歳11か月、1歳4か月)

岩国医療センター感染症事例 (3/13～4/16)

- ◆COVID-19：小児例10例うち入院2例
- ◆RSウイルス感染症：4例(酸素必要例なし)
- ◆アデノウイルス感染症：5例
- ◆インフルエンザA：37例(平均年齢8歳3か月)
- ◆hMPV感染症：1例 ◆急性胃腸炎：17例 ◆突発性発疹症：2例
- ◆川崎病：3例(5か月、6か月、1歳4か月(CAL疑い1例))
- ◆腎盂腎炎：1例 ◆急性巣状細菌性腎炎：1例
- ◆急性細気管支炎・急性肺炎：原因不明各1例
- ◆急性脳症疑い(痙攣重積)：1例

〔4月の多報告順位〕

(○内数字は前回の順位)

- 1) ①インフルエンザ
- 2) ②感染性胃腸炎
- 3) ⑤RSウイルス感染症
- 4) ④A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 5) ③突発性発疹
- 6) ⑦ヘルパンギーナ
- 7) ⑥咽頭結膜熱
- 8) ⑧水痘
- 9) ⑨流行性角結膜炎
- 10) ⑩手足口病

MSSA：methicillin-susceptible staphylococcus aureus

BLNAS：β-lactamase negative ampicillin susceptible (β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン感受性)

BLNAI：β-lactamase-negative ampicillin intermediate-resistant (β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン中間耐性)

CAL：coronary artery lesions (川崎病冠動脈病変)

注) 月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い(または少ない)数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会にて検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年5月分の総合解析評価結果 第16週(4/17)～第19週(5/14)

5月5日、石川県能登地方で震度6強の地震が発生、マグニチュードは6.3を記録した。11日には千葉県南部で震度5強、13日には鹿児島県奄美地方で震度5弱の強い地震があったものの、各地震の間に関連性はないとのことである。山口県内の天候は全般に穏やかであったが、日中と朝夕の気温差が大きい日もあった。

WHOは5月5日に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の緊急事態宣言を終了すると発表した。国内では、5月8日にCOVID-19は感染症法上の2類相当から5類に変更となり、これまでの「全数把握」から「定点把握」へ移行となった。厚生労働省では、第8波の2022年10月から2023年5月の期間で、「定点把握」によってCOVID-19流行状況の把握が可能か検証を行い、許容範囲内であったとした。「定点把握」では都道府県が指定した全国およそ5,000の医療機関が週に1回報告を行い、患者数の増減傾向と水準を把握する。第19週(5月8日～14日)では山口県下の「インフルエンザ/COVID-19 定点」67箇所ではCOVID-19は102例(定点あたり1.52例)集計された。全国的には定点あたり2.63例と報告され、5類となる前の1週間に比べて1.46倍で、緩やかな増加傾向が続いているとした。また、厚生労働省は流行状況を継続的に把握する指標の一つとして、新たに「新規入院数」の発表を始めた。第19週に新たに入院した人は2,330例で、前の週は2,385例であり55人の減少であった。一方で、新型コロナによる医療のひっ迫状況を把握するために、同省は毎週「入院患者数」と「重症者数」を発表しており、5月17日の時点ではこの「入院患者数」は4,512人で、1週間前と比べて63人増えていた。同じ時点での「重症者数」は97人で前週より2人減少という状況であった。5類に変更になったばかりであり、COVID-19の発生増減、医療のひっ迫状況については今後も注意深く経過を見ていくことになる。一般社会情勢を見ると国民のコロナに対する警戒心は薄らいできた様に思われる。

4月14日にインドから帰国した30代男性が21日から発熱、発疹があり、27日に茨城県で麻疹と確定診断された。4月23日にこの男性が乗車した新幹線の同じ車両に乗っていた、30代女性、40代男性が5月10日、11日にそれぞれ東京都内で麻疹と診断され、届出があった。麻疹の発生報告は、2020年10例、2021年と2022年は6例とかなり少なかった。これまでの3例に続く感染拡大に注意が必要である。

5月16日に大分市の高校で約500人の生徒、17日に宮崎市で生徒と職員あわせて500人、18日には調布市の小学校で児童と教職員およそ100人のインフルエンザ集団発生が確認された。高校での集団発生はいずれも体育祭で感染拡大したと思われる。コロナ禍でインフルエンザの流行がなく住民のインフルエンザに対する免疫が低下したと思われる。

国立感染症研究所によると、2023年4月23日までの梅毒の感染者数は速報値で延べ4,370人とされ、前年の同じ時期(延べ3,027人)よりも多くなった。2022年には年間13,000人の梅毒感染者が報告されており、過去最多であったが2023年は前年を上回るペースとなっている。本県においても近年増加しており、2022年は2021年の2.04倍で過去最多となっており、2023年5月20日現在の累積患者数は43人である。

山口県内の流行状況 COVID-19 発生数	山口県 感染者数	全国 感染者数	山口県内(最終週)			
			重症者数	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ	軽症 無症状
3月 第8～10週(2/20～3/12)	3,948人	232,421人	1人	12人	12人	23人
4月 第11～15週(3/13～4/16)	2,939人	256,596人	0人	2人	6人	12人
5月 第16～18週(4/17～5/7)	1,616人	212,691人	0人	7人	1人	7人

小児科定点・基幹定点報告数(第16週～第19週)

インフルエンザ:502人(防府、山口が多い) RSウイルス感染症:297人(下関、岩国が多い)
咽頭結膜熱:30人 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:142人 感染性胃腸炎:710人(周南、宇部が多い)
水痘:22人 手足口病:10人 伝染性紅斑:4人 突発性発疹:68人 ヘルパンギーナ:103人
流行性耳下腺炎:7人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等(第16週～第19週)

カンピロバクター腸炎:8人 病原大腸菌腸炎VT(一):12人 サルモネラ腸炎:1人
アデノウイルス胃腸炎:9人 ノロウイルス胃腸炎:18人 アデノウイルス急性咽頭扁桃炎:72人
ヒトメタニューモウイルス感染症(hMPV):61人

解析:感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報 (4/17～5/14)

◆アデノウイルス咽頭炎:11例 ◆アデノウイルス性胃腸炎:1例 ◆ヘルパンギーナ:18例
◆hMPV 感染症:14例 ◆RSウイルス感染症:9例 ◆感染性胃腸炎:97例 ◆突発性発疹:13例
◆COVID-19:5例 ◆インフルエンザA型:15例 ◆川崎病:2例(3歳) ◆水痘:2例 ◆帯状疱疹:1例

徳山中央病院入院患者情報 (4/21～5/20)

4月から5月にかけて呼吸器感染症が多く、入院患者もコロナ禍前に戻った感じである。

◆インフルエンザA:1例(6歳男児)。 ◆hMPV 感染症:1例(細気管支炎)。

- ◆RSウイルス感染症：5例（細気管支炎：4例、気管支肺炎：1例）。
- ◆パラインフルエンザウイルス感染症：3例（急性気管支炎：1例<3型>、気管支肺炎：2例<3型、4型>）
- ◆ノロウイルス胃腸炎：1例（3歳女児）。 ◆HHV6（human herpesvirus 6）脳炎の疑い：1例
（6歳女児：生体肝移植後、発熱、嘔吐、いつもの元気なし。髄液パネルでHHV6検出 → 山大到紹介）。
- ◆川崎病：1例（5か月男児）。 ◆熱性けいれん：4例（1歳：3例、3歳：1例）。
- ◆急性虫垂炎：1例（6歳女児：先端が肝臓に接する二次性虫垂炎、保存療法で軽快）。
- ◆腸重積症：1例（2歳男児：便アデノウイルス陽性）。

山口赤十字病院情報（4/15～5/14）

- ◆RSウイルス：前医陽性例も含むと比較的多い。入院9例 ◆インフルエンザ：少数あり
- ◆おたふくかぜ：少数あり ◆溶連菌感染症：少数あり
- ◆ヘルパンギーナ：地域で散見の情報あるも当院ではまだ見かけず ◆アデノウイルス：少数あり
- ◆感染性胃腸炎：少数あり ◆ヒトメタニューモウイルス：少数あり
- ◆川崎病：4例（1歳3か月女児、4歳3か月女児、3歳6か月男児、1歳3か月男児）いずれもIVIg反応良好。
1歳3か月男児はEBV（Epstein - Barr virus）初感染が関連か。
- ◆劇症溶連菌感染症：70代男性。蜂窩織炎と腎不全、ショックバイタル。
5月17日採取の血液培養からS. Dysgalactiae

検査結果集計

	陽性	陰性	合計	陽性率 (%)
便 ロタチェック	0	4	4	0.00
便 アデノチェック	0	4	4	0.00
咽頭 アデノチェック	6	53	59	10.17
眼脂 アデノチェック	0	6	6	0.00
ストレプトA（溶連菌迅速）	0	9	9	0.00
RSウイルス	3	51	54	5.56
インフルエンザA	4	139	143	2.80
インフルエンザB	0	143	143	0.00
便 ノロウイルス	1	4	5	20.00
マイコプラズマ	0	1	1	0.00
hMPV	3	43	46	6.52
SARS-CoV2	5	164	169	2.96

下関地域感染症サーベイランス（5/17～5/14）

- ◆インフルエンザ：184例（4/1のA陽性検体でA香港型確認）
- ◆VT(-)大腸菌性腸炎 0-6：1例 ◆カンピロバクター腸炎：6例 ◆ノロウイルス胃腸炎：14例
- ◆アデノウイルス胃腸炎：2例
- ◆アデノウイルス扁桃炎：15例 ◆hMPV感染症：21例 ◆ヘルペス歯肉口内炎：3例

＜済生会下関総合病院 入院症例＞

- ◆RSV感染症 12例（0歳1か月～3歳） ◆急性腎盂腎炎：3例（0歳10か月：Kl. aerogenes、
0歳10か月：Kl. oxytoca、2歳3か月：E. coli（ESBL産生） ◆川崎病：2例（0歳11か月、2歳3か月）
- ◆細菌性胃腸炎 2例（2歳7か月：サルモネラ、9歳：E. coli（0-1））
- ◆細菌性気道感染症 2例（0歳8か月・2歳1か月：BLNAR）
- ◆突発性発疹（2歳1か月） ◆hMPV感染症（2歳10か月）
- ◆COVID-19（11歳）

岩国医療センター感染症事例（4/17～5/14）

- ◆COVID-19：4例 ◆RSウイルス感染症：12例
- ◆アデノウイルス感染症：4例 ◆インフルエンザA：7例
- ◆hMPV感染症：1例 ◆急性胃腸炎：22例
- ◆突発性発疹症：2例 ◆川崎病：2例（1歳、1歳）
- ◆MRSA敗血症/心内膜炎（末梢性肺動脈狭窄）：1例
- ◆腎盂腎炎：2例 ◆化膿性股関節炎：1例 ◆急性虫垂炎：2例
- ◆溶連菌感染後急性糸球体腎炎：1例 溶連菌感染症：1例

- 〔5月の多報告順位〕
（○内数字は前回の順位）
- 1) ②感染性胃腸炎
 - 2) ①インフルエンザ
 - 3) ③RSウイルス感染症
 - 4) ④A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
 - 5) ⑥ヘルパンギーナ
 - 6) ⑤突発性発疹
 - 7) ⑦咽頭結膜熱
 - 8) ⑧水痘
 - 9) - 流行性耳下腺炎
 - 10) ⑩手足口病

ESBL：extended-spectrum β -lactamase（基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ）

BLNAS： β -lactamase negative ampicillin susceptible（ β -ラクタマーゼ非産生アンピシリン感受性）

注）月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会にて検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年6月分の総合解析評価結果 第20週（5/15）～ 第24週（6/18）

5/8のCovid-19の2類から5類への変更後、日本は5/19-5/21の広島サミットに向けての対応に追われた。ロシアの侵攻に対するウクライナの反攻計画が噂される中、広島サミットは開かれた。4月に首相の襲撃事件などがあり警備面での配慮が必要な中での開催であったが、ウクライナのゼレンスキー大統領の電撃参加、参加者の原爆資料館の見学などの行事が滞りなく行われた。

5月末、台風2号は記録的災害をもたらし、中国四国地方では例年より早い梅雨入り（5/29）になった。

【Covid-19 関連】Covid-19が5類になって、全数把握中止後も、定点報告では増加、第9波移行の懸念が現実化している。主な流行株はXBB.1.9.1などで強い感染力を有するが、重症化のリスクは高くない。特に沖縄での発生が突出している。ワクチンは令和6年3月末まで公費負担予定である。

【他の感染症】インフルエンザの流行はH3N2が高校での集団発生を示していたが、RSウイルス、ヘルパンギーナの集団感染が問題になっており、関東では危険情報を掲げている自治体もある。

【山口県内での動向】Covid-19の乳幼児も含めた全年齢層での増加、インフルエンザH3N2は学童期以降を主体に発生持続、pdm09も検出有。RSウイルス感染乳幼児報告例の増加は国内でも突出している。感染性胃腸炎は就学前の幼児例中心（原因の特定されたものではノロウイルスと細菌性腸炎の混在）、手足口病・ヘルパンギーナの就学前幼児中心の増加。A群β溶連菌感染症も増加。アデノウイルス咽頭炎、ヒトメタニューモウイルス肺炎などの発生が地域的に認められている。数は少ないが劇症型溶連菌感染症の報告、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生が認められ注意を要する。

【新興再興感染症】マダニの媒介する別のウイルス（オズウイルス）による感染死亡例が日本で報告された。

鳥インフルエンザH5N1は大流行し、卵の流通に支障をきたしていたが6/20に農林水産省による国内での発生がない状態が確認、流通の回復、価格の適正化が期待される。今回、ヒトへの感染は国内では確認されていない。

もともと感染症の発生の多い6月であるが、マスクをつけなくてもよい時代に相応してCovid-19含め感染症全体数は増加し、冬に流行るものも現状では夏に流行し、元来、夏に流行るものも増えてきている状況である。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告推移	第20週 5/15-5/21	第21週 5/22-5/28	第22週 5/29-6/4	第23週 6/5-6/11	第24週 6/12-6/18
山 口 県	2.21	2.43	3.28	4.40	3.93
全 国	3.55	3.63	4.55	5.11	5.60

小児科定点・基幹定点報告数（第20週～第24週）

インフルエンザ：757人、新型コロナウイルス感染症1,089人、RSウイルス感染症：1,260人、咽頭結膜熱：66人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：267人、感染性胃腸炎：1,249人、水痘：30人、手足口病：155人 伝染性紅斑：3人 突発性発しん：85人 ヘルパンギーナ：501人
流行性耳下腺炎：17人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等（第20週～第24週）

カンピロバクター腸炎：11人 病原大腸菌腸炎VT(+)：2人 病原大腸菌腸炎VT(-)：22人
サルモネラ腸炎：11人 アデノウイルス胃腸炎：15人 ノロウイルス胃腸炎：18人
マイコプラズマ肺炎：5人 アデノウイルス急性咽頭扁桃炎：200人
ヒトメタニューモウイルス感染症(hMPV)：125人

解析：感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報（5/15～6/18）

◆ヘルパンギーナ：48例、◆手足口病：26例、◆hMPV感染症：45例 ◆RSウイルス感染症：59例
◆溶連菌感染症：4名 ◆感染性胃腸炎：212例 ◆サルモネラ胃腸炎(0-9)：12才女児
◆突発性発疹：7例 ◆COVID-19：25例 ◆インフルエンザA型：27例 ◆水痘：1例
◆ヘルペス性歯肉口内炎：1例

徳山中央病院入院患者情報 (5/21～6/20)

5月から6月にかけて呼吸器感染症を中心に、様々な疾患患者（悪性リンパ腫、再生不良性貧血、ネフローゼ症候群、学校検尿を契機に診断された糖尿病2例、クローン病など）の入院があり、とても忙しかったと思われる。

- ◆RSウイルス感染症：21例（細気管支炎：19例、気管支肺炎：2例） ◆hMPV感染症：1例（気管支炎）
- ◆急性腎盂腎炎：1例（6か月男児：E.coli） ◆川崎病：4例（1歳女児、2歳男児、3歳男児、5歳女児）
- ◆熱性けいれん：8例（1歳：6例、2歳：1例、4歳：1例）
- ◆臍部蜂窩織炎（新生児：臍部からMRSA検出、エコーで尿管管遺残確認）。

山口赤十字病院情報 (5/15～6/14)

RSVを中心の急性感染症が急増した。山口のみならず宇部、防府、萩も入院病床がほぼ満床となった。

- ◆RSウイルス：34例（非常に多くなり10名以上入院している日もある。7歳男児、生来健康。気管粘液栓で窒息、心停止寸前となるも挿管して救命。） ◆急性巣状細菌性腎炎（AFBN）：1例（痙攣重積で脳症発症）
- ◆インフルエンザ：少数あり ◆溶連菌感染症：少数あり
- ◆ヘルパンギーナ：多発の情報あるも当院ではまだ多くない
- ◆アデノウイルス：少数あり（咽頭、便ともあり） ◆感染性胃腸炎：少数あり ◆hMPV感染症：少数あり
- ◆川崎病：3例（2歳3か月女児、1歳5か月男児、11か月男児 いずれも経過は良好）

検査結果集計

	陽性	陰性	合計	陽性率 (%)
便 ロタチェック	0	6	6	0.00
便 アデノチェック	2	3	5	40.00
咽頭 アデノチェック	6	53	59	10.17
眼脂 アデノチェック	0	6	6	0.00
ストレプトA（溶連菌迅速）	1	14	15	6.67
RSウイルス	15	65	80	18.75
インフルエンザA	0	180	180	0.00
インフルエンザB	0	180	180	0.00
便 ノロウイルス	1	4	5	20.00
hMPV	1	70	71	1.41
SARS-CoV2	10	191	201	4.98

下関地域感染症サーベイランス (5/15～6/18)

- ◆COVID-19：96例（15歳以上：63例） ◆インフルエンザ：108例
- ◆VT(-)大腸菌性腸炎 0-6・0-18・0-126：各1例、血清型不明：2例
- ◆VT(+)大腸菌性腸炎 0-157 VT2(+): 2例・VT(+): 1例 ◆カンピロバクター腸炎：6例
- ◆サルモネラ腸炎 1例 ◆ノロウイルス胃腸炎：10例 ◆アデノウイルス胃腸炎：2例
- ◆アデノウイルス扁桃炎：65例 ◆マイコプラズマ感染症：1例
- ◆hMPV感染症：33例 ◆ヘルペス歯肉口内炎：1例

＜済生会下関総合病院 入院症例＞

- ◆RSV感染症 36例（0歳0か月～15歳）
- ◆川崎病：7例（0歳3か月～3歳8か月）
- ◆インフルエンザ：2例（2歳6か月、8歳：A型）
- ◆細菌性気道感染症：4例（3歳2か月・8歳：BLNAS、2歳11か月：BLNAR、3歳3か月：BLPACR）
- ◆急性腎盂腎炎：0歳1か月（E.coli）
- ◆アデノウイルス咽頭炎：0歳10か月 ◆ヘルパンギーナ：5歳7か月
- ◆ノロウイルス胃腸炎：1歳0か月 ◆細菌性腸炎：2歳4か月（0-153）

〔6月の多報告順位〕

（○内数字は前回の順位）

- 1) ③RSウイルス感染症
- 2) ①感染性胃腸炎
- 3) - 新型コロナウイルス感染症
- 4) ②インフルエンザ
- 5) ⑤ヘルパンギーナ
- 6) ④A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 7) ⑩手足口病
- 8) ⑥突発性発疹
- 9) ⑦咽頭結膜熱
- 10) ⑧水痘

岩国医療センター感染症事例 (5/15～6/18)

- ◆COVID-19：小児7例（成人40例）
- ◆RSウイルス感染症：45例 酸素投与までで呼吸補助を必要とした例はなし
- ◆アデノウイルス咽頭炎：6例 ◆A型インフルエンザ：16例 ◆hMPV感染症：4例 ◆急性胃腸炎：23例
- ◆川崎病：4例 ◆突発性発疹：2例 ヘルパンギーナ：3例 ◆手足口病：2例 ◆急性脳症：2例
- ◆血球貪食症候群：1例 ◆敗血症：2例 けいれん重積で経過観察・入院の症例は多数認められた。

注）月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会にて検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年7月分の総合解析評価結果 第25週（6/19）～ 第28週（7/16）

全国各地で線状降水帯と呼ばれる集中的な降雨が発生し水害が多発、観測史上最高の雨量を記録したところも多かった。全国で九州から東北にかけて多くの地域で警戒レベル5の緊急安全確保が要請され、県内でも6月30日から7月1日にかけて記録的な大雨となり、浸水被害や死者も発生した。7月25日、国内で最後に九州北部と山口県が梅雨明けとなり、本格的な夏に向かうと予想される。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、5月8日以降5類感染症の扱いとなったが、その後7月末までにじりじりと患者数が増加している。週・定点当たりの患者数は第19週（5/8-14）の1.52から、28週（7/10-16）には11.12に達した。また、28週には全国平均より高値となった。毎週数か所以上の学校や高齢者施設などで集団発生が報告されているが、今後夏休みを迎えてどのような発生動向となるか注意が必要である。全国的には沖縄・九州地方で高率に発生している。なお、現時点での全国的な流行株はXBB.1系統であり山口県も同様である。秋以降に5歳以上のすべての人を対象とするワクチン接種ではXBB.1系統に対応する1価ワクチンが使用される方針である。

小児科定点でヒトメタニューモウイルスが急増傾向にあり、岩国、周南、宇部、下関から多数が報告された。アデノウイルス咽頭扁桃炎も多いがやや減少傾向である。

RSウイルスは依然全県で多発しており、とくに宇部、周南、岩国が多いが、推移グラフからはようやくピークを越えそうに見える。2021年に引き続いての季節外れの流行となった。

インフルエンザは、例年見られなくなる時期であるが今年はだらだらと小流行が続いており、周南（注意報レベル）、下関などはまだ多い。学級閉鎖の報告も散見される。春に例年並みの大流行が見られた岩国ではほぼ終息している点は興味深い。なお、今月の流行株はインフルエンザA/H3N2型であった。

先月から多発が続くヘルパンギーナ（28週時点で周南、防府、山口、宇部、萩で警報レベル）、今月増加傾向の手足口病（28週時点で防府、宇部が警報レベル）など、夏季に特徴的な感染症も目立ってきた。

これら小児に多発する感染症の影響で、基幹病院の小児科は徐々に病床ひっ迫の状況となった。そのほか、4類感染症のレジオネラが5例報告されるなど、多彩な感染症が見られた月であった。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告推移	第25週 6/19-6/25	第26週 6/26-7/2	第27週 7/3-7/9	第28週 7/10-7/16
山口県	4.55	5.88	8.75	11.12
全国	6.13	7.24	9.14	11.04

小児科定点・基幹定点報告数（第25週～第28週）

インフルエンザ：752人、新型コロナウイルス感染症2,030人、RSウイルス感染症：1,120人、咽頭結膜熱：40人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：243人、感染性胃腸炎：698人、水痘：5人、手足口病：431人 伝染性紅斑：1人 突発性発疹：50人 ヘルパンギーナ：692人
流行性耳下腺炎：26人 マイコプラズマ肺炎：9人 無菌性髄膜炎：1人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等（第25週～第28週）

カンピロバクター腸炎：12人 病原大腸菌腸炎VT(一)：20人
サルモネラ腸炎：2人 アデノウイルス胃腸炎：1人 ノロウイルス胃腸炎：2人
マイコプラズマ肺炎：6人 アデノウイルス急性咽頭扁桃炎：112人
ヒトメタニューモウイルス感染症(hMPV)：302人 ヘルペス歯肉口内炎：1人

解析：感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報（6/19～7/16）

◆ヘルパンギーナ：58例 ◆アデノウイルス咽頭炎：8例 ◆手足口病：66例 ◆hMPV感染症：29例
◆RSウイルス感染症：92例 ◆溶連菌感染症：5例 ◆感染性胃腸炎：141例
◆サルモネラ胃腸炎(0-9)：6才女児 ◆突発性発疹：4例 ◆COVID-19：51例
◆インフルエンザA型：9例 ◆ヘルペス性歯肉口内炎：1例

徳山中央病院入院患者情報（6/21～7/20）

6月から7月にかけて呼吸器感染症を中心に入院患者がとて多かった。胃腸炎が少なかった。全体としてコロナ禍前より入院患者が多い状態であった。

- ◆RS ウイルス感染症：37 例（細気管支炎 31 例、気管支炎 5 例、気管支肺炎 1 例）
- ◆hMPV 感染症：3 例（気管支炎 2 例、気管支肺炎 1 例）
- ◆COVID-19：6 例（1 か月、2 か月 2 例、3 か月、2 歳、8 歳） ◆ヘルパンギーナ：1 例（11 か月男児）
- ◆急性腎盂腎炎：1 例（1 か月男児）
- ◆川崎病：6 例（1 歳男児、2 歳男児、4 歳女児、6 歳女児、7 歳男児、15 歳男児＜不全型＞）
- ◆熱性けいれん：5 例（11 か月、2 歳 2 例、6 歳 2 例）
- ◆菌血症：1 例（先天性心疾患：感染性心内膜炎として対応）

山口赤十字病院情報（6/15～7/14）

引き続き急性感染症の多い月となった。

- ◆RSウイルス：非常に多くなり10名以上入院している日もあり。入院53人。
- ◆溶連菌感染症：少数あり ◆ヘルパンギーナ：多発の情報あるも当院ではまだ多くない
- ◆アデノウイルス：少数あり（咽頭、便ともあり） ◆感染性胃腸炎：少数あり
- ◆手足口病：多発の情報あるも当院ではまだ多くない ◆hMPV感染症：少数あり
- ◆COVID-19：5/8から7/24までに入院27人（小児10人、成人17人）
- ◆川崎病：4 人あり（2歳6か月女児、3歳10か月女児、3歳4か月男児：いずれも経過は良好、3歳11か月女児：冠動脈軽度拡張）
- ◆小脳炎の疑い：3歳（7/18より入院精査中） ◆過敏性肺臓炎：12歳（トリコスポロン・アサヒを検出）

検査結果集計

	陽性	陰性	合計	陽性率（%）
便 アデノチェック	1	14	15	6.67
咽頭 アデノチェック	3	80	83	3.61
ストレプトA（溶連菌迅速）	2	20	22	9.09
RS ウイルス	30	58	88	34.09
便 ノロウイルス	4	14	18	22.22
hMPV	3	68	71	4.23
SARS-CoV2	18	235	253	7.11

下関地域感染症サーベイランス（6/19～7/16）

- ◆COVID-19：282例（15歳以上：131例） ◆インフルエンザ：390例
- ◆VT(-)大腸菌性腸炎 0-25：1例 ◆カンピロバクター腸炎：4例 ◆サルモネラ腸炎：1例
- ◆アデノウイルス胃腸炎：1例 ◆アデノウイルス扁桃炎：45例 ◆hMPV感染症：103例

＜済生会下関総合病院小児科 入院症例＞

- ◆RSV 感染症：15 例（0 歳 10 か月～3 歳 10 か月）
- ◆細菌性気道感染症：8 例（1 歳 2 か月～3 歳 7 か月 4 例：BLNAI、0 歳 3 か月・1 歳 0 か月 2 例：BLNAR、3 歳 5 か月：BLNAS、7 歳：BLPACR）
- ◆hMPV 感染症：5 例（0 歳 5 か月～2 歳 8 か月）
- ◆急性腎盂腎炎：2 例（0 歳 8 か月：E.coli、0 歳 9 か月：E.coli（ESBL 産生））
- ◆川崎病：2 例（0 歳 5 か月、3 歳 2 か月）
- ◆伝染性膿痂疹：1 歳 10 か月（MSSA） ◆インフルエンザ A：12 歳
- ◆COVID-19：0 歳 6 か月 ◆細菌性腸炎：15 歳（CDI）

岩国医療センター感染症事例（6/19～7/16）

- ◆COVID-19：外来陽性小児25例/成人65例（小児入院例は6名呼吸不全なし）
- ◆RSウイルス気管支炎/細気管支炎：16例 ◆hMPV肺炎：5例
- ◆急性胃腸炎：12例 ◆ヘルパンギーナ：12例 ◆手足口病：3例
- ◆溶連菌感染症：2例 ◆腸重積：1例（1歳）
- ◆川崎病：3例（冠動脈合併症なし、軽症1例） ◆ネフローゼ再発：1例

〔7月の多報告順位〕

（○内数字は前回の順位）

- 1) ③新型コロナウイルス感染症
- 2) ①RSウイルス感染症
- 3) ④インフルエンザ
- 4) ②感染性胃腸炎
- 5) ⑤ヘルパンギーナ
- 6) ⑦手足口病
- 7) ⑥A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 8) ⑧突発性発しん
- 9) ⑨咽頭結膜熱
- 10) -流行性耳下腺炎

注）月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会にて検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年8月分の総合解析評価結果 第29週(7/17)～第32週(8/13)

8月8日にアメリカ合衆国ハワイ州マウイ島で発生した山火事は、強風によって広がり西部のラハイナで壊滅的な被害をもたらし、行方不明者は1000人を超えると報じられている。

一方、国内では35℃以上の猛暑日が全国的に広範な地域で続いている。猛暑日が多い過去の記録を更新しつつある。山口県においても例外でなく、県の「熱中症疑い傷病者の救急搬送速報」によると、7月及び8月の熱中症救急搬送人員等は561人にのぼる。(昨年は460人) また、台風6号が九州西岸を北上し朝鮮半島に抜けた。山口県には8月10日未明に最接近し、少なからず影響を受け瞬間風速は30m近くの地域も出た。雨も局所的に豪雨となった。台風7号は8月15日に近畿地方を直撃し兵庫県を北上して日本海を抜けた。

新型コロナウイルス感染症については、8月にピークを迎えると予想され、報告数が増加の一途をたどる中、お盆明けは少し下降線を示している。定点把握患者数は直近4週で4,673人、1週間当たり17.5人である。県全域で発生しており全年齢層で発生している。全国的な比較では九州・山口地域で発生数が多い傾向にあり、一方で沖縄県の発生数は6月下旬から7月上旬をピークに著しく減少している。

インフルエンザは1週間当たりの報告数は県全体で2.65人であった。先月に引き続き発生数は少ないが続いて発生している。今年のような夏場の流行は過去に類を見ない。検出ウイルスのほとんどがA/H3N2型である。RSウイルス感染症は1週間当たりの発生数は2.97人と県全域においてピークは越えている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は1.09人。コロナ流行期に極端に発生数が減少していたが増加傾向にある。感染性胃腸炎は2.95人となっており夏場の発生数減少を示している。手足口病は3.29人で増加している。ヘルパンギーナは2.71人で県全域において発生数は減少している。マイコプラズマ肺炎の報告が少数あり今後の動向が注視される。ヒトメタニューモウイルス感染症も発生数が多く入院紹介となる症例も認められる。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告推移	第29週 7/17-7/23	第30週 7/24-7/30	第31週 7/31-8/6	第32週 8/7-8/13
山口県	14.99	18.76	21.18	15.05
全国	13.91	15.91	15.81	14.16

小児科定点・基幹定点報告数(第29週～第32週)

インフルエンザ:708人、新型コロナウイルス感染症:4,673人、RSウイルス感染症:500人、咽頭結膜熱:11人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:187人、感染性胃腸炎:504人、水痘:12人、手足口病:562人 伝染性紅斑:8人 突発性発疹:53人 ヘルパンギーナ:463人 流行性耳下腺炎:17人 マイコプラズマ肺炎:3人

STD定点及び基幹定点(月報/7月)

性器クラミジア感染症:39人、性器ヘルペスウイルス感染症:9人、尖圭コンジローマ:10人、淋菌感染症:12人、MRSA感染症:33人、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:4人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等(第29週～第32週)

カンピロバクター腸炎:5人、病原大腸菌腸炎VT(-):13人、サルモネラ腸炎:5人
アデノウイルス胃腸炎:2人、ノロウイルス胃腸炎:1人、マイコプラズマ肺炎:5人
アデノウイルス急性咽頭扁桃炎:39人、ヒトメタニューモウイルス感染症(hMPV):487人

1.2.3.4類及び5類感染症発生状況全数(第29週～第32週)

結核:11人、腸管出血性大腸菌感染症:1人、E型肝炎:1人、重症熱性血小板減少症候群:2人
レジオネラ症:2人、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症:1人、急性脳炎:6人、
後天性免疫不全症候群:1人、侵襲性インフルエンザ菌感染症:1人、梅毒:9人

解析:感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報 (7/17～8/13)

◆ヘルパンギーナ:23例 ◆手足口病:16例 ◆hMPV感染症:44例 ◆RSウイルス感染症:47例
◆溶連菌感染症:8例 ◆感染性胃腸炎:112例 ◆突発性発疹:3例 ◆COVID-19:135例
◆川崎病:1例(9ヶ月男児) ◆インフルエンザA型:15例 ◆熱性けいれん:2例

徳山中央病院入院患者情報 (7/21～8/20)

7月から8月にかけても呼吸器感染症を中心に入院患者が多い状態が続いている。

- ◆RSウイルス感染症：13例（細気管支炎13例）
- ◆hMPV感染症：4例（細気管支炎2例、気管支肺炎2例）
- ◆COVID-19：6例（1か月2例、3か月、2歳、6歳、13歳） ◆ヒトパレコウイルス感染症（1か月男児）
- ◆ヘルパンギーナ：1例 ◆手足口病：2例 ◆溶連菌感染症：1例（6か月女児）
- ◆急性腎盂腎炎：2例（3か月女児、2歳男児） ◆川崎病：1例（3歳男児）
- ◆熱性けいれん：4例（7か月女児、1歳男児、3歳男児、3歳女児） ◆細菌性髄膜炎（7か月男児：E. coli）

山口赤十字病院情報 (7/15～8/14)

引き続き急性感染症の多い月となった。

- ◆RSウイルス：減少に転じたがまだ散見される。入院13人。
- ◆インフルエンザ：A型少数 ◆おたふくかぜ：少数あり ◆水痘：8月14日発症の成人水痘1例あり
- ◆溶連菌感染症：少数あり ◆ヘルパンギーナ：多発の情報あるも当院ではまだ多くない
- ◆アデノウイルス：少数あり（咽頭、便ともあり） ◆感染性胃腸炎：少数。成人で0-157一例。
- ◆手足口病：多発の情報あるも当院ではまだ多くない ◆hMPV感染症：やや増加した。入院9人。
- ◆COVID-19：5/8から8/20までに入院71人（小児19人、成人52人＝妊婦2人含む）
妊婦2人はすぐ出産に至ったが児への感染は起こさなかった
- ◆川崎病：7人あり（7歳2人、6歳1人、1歳2人、0歳2人）
うち7歳男児は3回目の再燃 治療反応は良かった
- ◆小脳炎の疑い：3歳（7/18より入院加療中 パルス療法著効の印象）咽頭ぬぐい液よりHHV6

下関地域感染症サーベイランス (7/17～8/13)

- ◆COVID-19：460例（15歳以上：309例） ◆インフルエンザ：201例
- ◆VT(-)大腸菌性腸炎 0-6：1例 ◆カンピロバクター腸炎：1例 ◆サルモネラ腸炎：3例
- ◆アデノウイルス扁桃炎：17例 ◆hMPV感染症：229例 ◆ヘルペス口内炎：2例
- ◆マイコプラズマ肺炎：2例 ◆川崎病：1例

＜済生会下関総合病院小児科 入院症例＞

- ◆hMPV感染症：11例（0歳4か月～5歳） ◆RSV感染症：8例（0歳0か月～2歳10か月）
- ◆川崎病：7例（0歳4か月～3歳1か月） ◆細菌性気道感染症：6例（5歳：BLNAR、1歳5か月：BLNAS、2歳6か月・4歳：BLPACR、3歳8か月：PSSP、0歳8か月：PISP）
- ◆蜂窩織炎：2例（2歳11か月、13歳） ◆新型コロナウイルス感染症：2例（0歳1か月、12歳）
- ◆溶連菌感染症：1例（2歳4か月） ◆手足口病：1例（6歳） ◆インフルエンザA：1例（7歳）
- ◆急性腎盂腎炎：1例（5歳（E. coli（ESBL産生））

岩国医療センター感染症事例 (7/17～8/13)

- ◆COVID-19：36例（同期間成人例190名） ◆RSウイルス感染症：14名
- ◆アデノウイルス咽頭炎：1名 FluA：4（成人例でFluB：1）
- ◆サイトメガロウイルス感染症：1例 ◆hMPV肺炎：5例
- ◆ヘルパンギーナ：9例 ◆手足口病：5例 ◆急性胃腸炎：19例
- ◆川崎病：4例（1歳、6か月、7か月、8歳） ◆水痘：1例
- ◆非ムンプス無菌性髄膜炎：2例
- ◆1型糖尿病ケトアシドーシス：1例（抗体陰性）
- ◆縦隔気腫＋皮下気腫：1例 ◆ネフローゼ症候群：1例
- ◆尿路感染：2例 急性脳症なし

〔8月の多報告順位〕

（○内数字は前回の順位）

- 1) ①新型コロナウイルス感染症
- 2) ③インフルエンザ
- 3) ⑥手足口病
- 4) ④感染性胃腸炎
- 5) ②RSウイルス感染症
- 6) ⑤ヘルパンギーナ
- 7) ⑦A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 8) ⑧突発性発しん
- 9) ⑩流行性耳下腺炎
- 10) -水痘

注）月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会で検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年9月分の総合解析評価結果 第33週(8/14)～第37週(9/17)

9月に入っても全国的に猛暑日が続出し、ゲリラ豪雨で各地に被害があったが、少しずつ秋の気配が感じられるようになっている。9月8日夜モロッコでマグニチュード6.8の地震があり、3000人を超える死者が出た。数日後、リビア東部ではメディケーンが襲い、大洪水が発生し、10000人を超える死者が出た。世界では熱波による山火事や洪水が頻発しており、地球温暖化対策は急務である。また、東京電力は8月24日から、2011年の東日本大震災で被災した福島第一原発から排出された処理水の海洋放出を開始した。

新型コロナウイルス感染症はピークは越えたが、まだ高いレベルの感染状況にある。山口県での33～37週の感染者数は5,540人であり、1医療機関当たりの報告数は16.79である。また、国内の流行株について、XBB系統から派生した新系統「EG.5」(通称エリス)の検出が約3割を占めるとされる中、9月に入って別の系統「BA.2.86」(通称ピロラ)が国内で確認された。これにはXBBと比べ30カ所以上の新たな変異があり、ワクチンなどで得られた免疫を回避しやすい性質を持つとされる。WHOは「EG.5」を「注目すべき変異株」(VOI)、「BA.2.86」を「監視下の変異株」(VUM)に指定した。中東やアジアの一部で死者が増加し、欧州で入院患者が増加し、北半球の冬に向けて感染動向に注意が必要である。

XBB対応ワクチンの接種が始まった。重症化を防ぐ効果は十分にあり、生後6ヶ月以上のすべての人に全額公費負担による接種の機会が提供されている。政府は、重症化予防を目的として、「接種勧奨」の対象を65歳以上の高齢者ら重症化リスクの高い人に絞る一方、生後6か月以上の全ての人に接種機会を確保した。

インフルエンザが9月に入って急増し、都県で注意報レベルに達している。山口県でも1医療機関からの報告数(1週あたりの平均)は先月の2.65から4.82と増加しており、宇部、山口、周南、下関で多い。解析期間の検出はすべてA/H3 亜型であった。9月からインフルエンザ様疾患集団発生報告が新しい年度になったが、すでに40例を超える報告(山口14、下関11、宇部6、山陽小野田4など)があり、異例の事態である。新型コロナとの同時流行が起きれば、医療提供体制の逼迫に拍車をかける恐れがあり、今後の流行には十分注意する必要がある。

一方、RSウイルス感染症、hMPV感染症、手足口病、ヘルパンギーナ、アデノウイルス急性咽頭扁桃炎等、多彩な感染症がみられる。また、アデノウイルス8の検出があり流行性角結膜炎の流行の兆しがみられ、今後注意すべきである。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告推移	第33週 8/14～8/20	第34週 8/21～8/27	第35週 8/28～9/3	第36週 9/4～9/10	第37週 9/11～9/17
山口県	13.76	17.92	18.97	17.05	16.24
全国	17.84	19.07	20.50	20.19	17.54

小児科定点・基幹・眼科定点報告数(第33～37週)

インフルエンザ:1,590人、新型コロナウイルス感染症:5,540人、RSウイルス感染症:171人、咽頭結膜熱:59人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:219人、感染性胃腸炎:684人、水痘:14人、手足口病:414人、伝染性紅斑:1人、突発性発疹:75人、ヘルパンギーナ:222人、流行性耳下腺炎:3人、流行性角結膜炎:14人

STD定点及び基幹定点(月報/8月)

性器クラミジア感染症:28人、性器ヘルペスウイルス感染症:12人、尖圭コンジローマ:8人、淋菌感染症:15人、MRSA感染症:36人、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:2人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等(第33～37週)

カンピロバクター腸炎:9人、病原性大腸菌腸炎VT(-):18人、サルモネラ腸炎:4人、ロタウイルス胃腸炎:1人、アデノウイルス胃腸炎:8人、ノロウイルス胃腸炎:9人、アデノウイルス急性咽頭扁桃炎:144人、マイコプラズマ肺炎:1人、hMPV感染症:430人

1.2.3.4類及び5類感染症発生状況(第33～37週)

結核:14人、腸管出血性大腸菌感染症:10人、日本紅斑熱:3人、レジオネラ症:3人、アメーバ赤痢:1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:2人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症:2人、侵襲性インフルエンザ菌感染症:1人、侵襲性肺炎球菌感染症:1人、梅毒:9人

解析:感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報(8/14～9/17)

◆RSウイルス感染症:13名 ◆咽頭結膜熱:9名 ◆溶連菌感染症:8名 ◆手足口病:3名
◆突発性発疹:7名 ◆ヘルパンギーナ:14名 ◆インフルエンザA型:215名
◆帯状疱疹:19才女性1名 ◆熱性けいれん:3名 ◆アデノウイルス咽頭扁桃炎:17名

◆hMPV 感染症：15 名 ◆COVID-19：198 名

徳山中央病院入院患者情報 (8/21～9/20)

8 月から 9 月にかけても呼吸器感染症を中心に入院患者が多い状態が続いている。消化器感染症は少なかった。

- ◆RS ウイルス感染症 3 例（細気管支炎 3 例） ◆hMPV 感染症 2 例（気管支肺炎 2 例）
- ◆COVID-19 5 例（1 か月 3 例、11 か月、4 歳）
- ◆アデノウイルス咽頭扁桃炎 4 例（1 歳男児 2 例、4 歳男児、6 歳女児）
- ◆手足口病 2 例（9 か月女児、1 歳男児） ◆ヘルパンギーナ 1 例（3 歳女児）
- ◆溶連菌感染症 1 例（11 か月男児） ◆急性腎盂腎炎 1 例（1 歳男児）
- ◆川崎病 3 例（3 歳女児 2 例、7 歳男児）
- ◆熱性けいれん 8 例（10 か月男児、1 歳男児、1 歳女児、2 歳男児 2 例、3 歳女児、5 歳男児、6 歳女児）

山口赤十字病院情報 (8/15～9/14)

先月よりはやや落ち着いたか。

- ◆RSウイルス：さらに減少したがまだ散見される。入院7人。
- ◆マイコプラズマ：見られず
- ◆インフルエンザ：増加傾向にあり。全例A型
- ◆おたふくかぜ：目立たず ◆水痘：9月25日入院 31歳男性（外国人の方）
- ◆溶連菌感染症：少数あり ◆ヘルパンギーナ：多発の情報あるも当院ではまだ多くない
- ◆アデノウイルス：少数あり（咽頭、便ともあり） ◆感染性胃腸炎：少数。ノロ、ロタも少数あり
- ◆手足口病：多発の情報あるも当院ではまだ多くない ◆伝染性紅斑：見られず
- ◆hMPV感染症：先月よりは減少、入院は1人 ◆流行性角結膜炎：見られず
- ◆COVID-19：5/8から9/25までに入院104人
- ◆川崎病：1人（4歳9月男児）IVIg1回でスムーズに解熱

下関地域感染症サーベイランス (8/14～9/17)

- ◆COVID-19：692例（15歳以上：309例） ◆インフルエンザ：441例 ◆ヘルパンギーナ：87例
- ◆手足口病：125例 ◆突発疹：22例
- ◆感染性胃腸炎：237例 ◆VT(-)大腸菌性腸炎：1例 ◆カンピロバクター腸炎：4例
- ◆サルモネラ腸炎：4例 ◆ノロウイルス胃腸炎：3例 ◆アデノウイルス胃腸炎 1例
- ◆アデノウイルス扁桃炎：85例 ◆RSウイルス感染症：82例 ◆hMPV感染症：149例
- ◆ヘルペス口内炎：2例 ◆帯状疱疹（1歳）：1例 ◆川崎病：1例

＜済生会下関総合病院小児科 入院症例＞

- ◆新型コロナウイルス感染症：10 例（0 歳 1 ヶ月～14 歳）
- ◆RSV 感染症：4 例（0 歳 0 ヶ月～1 歳 1 か月） ◆川崎病：4 例（0 歳 9 か月～2 歳 3 か月）
- ◆hMPV 感染症：2 例（0 歳 4 か月、0 歳 7 か月） ◆皮膚感染症：2 例（3 歳：SSSS、6 歳：蜂窩織炎）
- ◆急性腎盂腎炎：2 例（0 歳 2 か月：E. coli (ESBL 産生)、1 歳 2 か月：Enterococcus faecalis)
- ◆ヘルパンギーナ：1 例（3 歳） ◆手足口病：1 例（0 歳 6 ヶ月） ◆カンピロバクター腸炎：1 例（11 歳）

岩国医療センター感染症事例 (8/14～9/17)

- ◆COVID-19：43例（小児）、入院2名
- ◆アデノウイルス咽頭炎：2例 ◆FluA：6例
- ◆hMPV肺炎：6例
- ◆川崎病：9例（冠動脈瘤1例）
- ◆急性弛緩性麻痺/Guillan-Barre疑い：1例

〔9月の多報告順位〕

（○内数字は前回の順位）

- 1) ①新型コロナウイルス感染症
- 2) ②インフルエンザ
- 3) ④感染性胃腸炎
- 4) ③手足口病
- 5) ⑥ヘルパンギーナ
- 6) ⑦A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 7) ⑤RSウイルス感染症
- 8) ⑧突発性発しん
- 9) -咽頭結膜熱
- 10) ⑩水痘

注）月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会にて検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年10月分の総合解析評価結果 第38週(9/18)～第41週(10/15)

県内では9月後半になっても30℃を超える日があったが、10月になってからは最高気温も25℃前後で過ごしやすい晴天の日が多かった。

9月23日、青森県八戸市保健所は市内の業者が作った弁当を食べた人が下痢やおう吐などの体調不良を訴えており、症状を訴えた人と弁当から黄色ブドウ球菌とセレウス菌が検出されたことから弁当が原因の食中毒と断定した。最終的に保健所が食中毒と確認した人は29都道府県の521人に上った。

新型コロナウイルス感染症は全国では第35週に定点あたり20.49を記録した後、減少し始め、第38週が11.01、第41週は3.76で、山口県でも第38週10.51、第41週3.46と同程度の集計であった。第39週に全国の基幹定点から報告された入院患者数は2011人で1600人が60歳以上であった。第38週に民間検査機関で検出された197検体のゲノムサーベイランスではXBB系統が187検体(94.9%)で、そのうちEG5.1.1が43検体(21.8%)と最も多かった(国立感染症研究所ホームページ)。山口県のゲノムサーベイランスでもXBB系統が多くを占めるがBA.2.86の検出も4件確認されている。臨床像には大きな変化はないようである。

一方、インフルエンザは全国では定点当たり第38週7.09、第40週9.99と増加傾向で、山口県では第38週10.69、第40週19.22と全国を上回るペースで増加し流行発生注意報レベルをすでに超えている。県内全域で発生しており、第38～41週の定点当たり報告では山口が31.97と最も多く、宇部、防府、周南、下関と続いている。10月19日時点で県内のインフルエンザ様疾患集団発生報告は231件であった。これからインフルエンザの予防接種が本格化する中でインフルエンザがどのように流行するのか注視しておく必要がある。検出株はA/H3N2亜型がほとんどであるがA/H1pdm09亜型が1件検出されている。

他に発生が多いのは感染性胃腸炎で、例年の発生報告と同様のグラフを描いている。周南、萩、宇部で多発している。季節的にはノロウイルスなどが原因と思われるが、小児科定点では少数しか確認できていない。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎も多発しており、全国的に見ても鳥取県に次いで2番目に多い。県内では、岩国が最も多く、周南、宇部、下関と続く。手足口病とヘルパンギーナは発生報告グラフでみるとピークは過ぎているが発生は続いている。どちらの疾患も定点当たりの平均報告数を上回っている地区は、周南、山口、萩であった。

咽頭結膜熱が第35週以降増加し最近5年間では最も多い報告となっている。定点当たりの報告数で平均を超えているのは、柳井、宇部、下関、周南である。全国でも増加傾向にあり、近隣の福岡県で発生報告が多く当県でも今後さらに流行拡大する可能性はある。アデノウイルス急性咽頭扁桃炎や流行性角結膜炎も多数報告されており、病原体定点からの検体ではアデノウイルス3及びアデノウイルス54が検出されている。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告推移	第38週 9/18～9/24	第39週 9/25～10/1	第40週 10/2～10/8	第41週 10/9～10/15
山口県	10.51	9.12	5.13	3.46
全国	11.01	8.83	5.20	3.76

インフルエンザ/COVID-19 定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点(週報)(第38～41週)

インフルエンザ：4,481人、新型コロナウイルス感染症：1,891人、RSウイルス感染症：23人、咽頭結膜熱：97人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：326人、感染性胃腸炎：469人、水痘：15人、手足口病：322人、伝染性紅斑：1人、突発性発しん：62人、ヘルパンギーナ：149人、流行性耳下腺炎：11人、流行性角結膜炎：13人、マイコプラズマ肺炎：3人

STD 定点及び基幹定点(月報/9月)

性器クラミジア感染症：44人、性器ヘルペスウイルス感染症：12人、尖圭コンジローマ：10人、淋菌感染症：12人、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：37人、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：4人、薬剤耐性緑膿菌感染症：1人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等(第38～41週)

カンピロバクター腸炎：2人、病原性大腸菌腸炎VT(+)：1人、病原性大腸菌腸炎VT(-)：16人、サルモネラ腸炎：5人、アデノウイルス胃腸炎：17人、ノロウイルス胃腸炎：4人、アデノウイルス急性咽頭扁桃炎：411人、hMPV感染症：165人

1,2,3,4類及び5類(全数)感染症発生状況(第38～41週)

結核：14人、腸管出血性大腸菌感染症：3人、重症熱性血小板減少症候群：1人、レジオネラ症：5人、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症：2人、急性弛緩性麻痺(灰白髄炎を除く)：1人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症：1人、水痘(入院例)：2人、梅毒：4人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症：1人、百日咳：1人

解析：感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報 (9/18～10/8)

◆RS ウイルス感染症：1名 ◆咽頭結膜熱：9名 ◆溶連菌感染症：7名 ◆手足口病：3名
◆突発性発疹：7名 ◆ヘルパンギーナ：4名 ◆インフルエンザA型：171名
◆熱性けいれん：10名 ◆アデノウイルス咽頭扁桃炎：38名 ◆COVID-19：40名

徳山中央病院入院患者情報 (9/21～10/20)

9月から10月にかけても呼吸器感染症を中心に入院患者が比較的多い状態が続いている。
季節の変わり目で気管支喘息の入院が6例あった。

◆hMPV 感染症：6例（気管支炎1例、気管支肺炎5例）
◆EB ウイルス感染症：2例（6歳男児、10歳男児）
◆無菌性髄膜炎：1例（2か月男児、呼吸器パネル、髄液パネルでヒトライノ/エンテロウイルス検出）
◆急性腎盂腎炎1例（1歳男児）
◆川崎病：4例（1歳女児、2歳女児、3歳男児、5歳女児＜IVIg2回不応で山に搬送＞）
◆熱性けいれん：2例（9か月女児、6歳男児）
◆腸重積症：2例（11か月女児、1歳男児：いずれもアデノウイルス陰性）

山口赤十字病院情報 (9/18～10/15)

先月よりはやや落ち着いたか。

◆RSウイルス：陽性1例にとどまり入院例はなかった
◆マイコプラズマ：見られず
◆インフルエンザ：さらに増加傾向にあり（陽性36例：全例A型、入院3例）
◆おたふくかぜ：目立たず ◆水痘：先月報告の症例：成人例・入院
◆溶連菌感染症：院内陽性例なし ◆ヘルパンギーナ：目立たず
◆アデノウイルス：やや増加傾向 ◆感染性胃腸炎：少数
◆手足口病：多発の情報あるも当院では多くない ◆伝染性紅斑：見られず
◆hMPV感染症：院内陽性例なし 入院は3人 ◆流行性角結膜炎：見られず
◆COVID-19：5/8から9/25までに入院104人、その後10/22までに6人（計110人）
◆川崎病：2人（5歳5か月男児：アデノ併発、入院後すぐに自然解熱したためASAのみ、経過良好、
0歳2か月男児：IVIg1回でスムーズに解熱）

下関地域感染症サーベイランス (9/18～10/15)

◆COVID-19：170例（15歳以上 89例） ◆インフルエンザ：1046例 ◆ヘルパンギーナ：41例
◆手足口病：99例 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 58例 ◆突発性発疹：16例
◆感染性胃腸炎：178例 ◆VT(+)大腸菌性腸炎：2例（3歳、2歳 関連はない）
◆カンピロバクター腸炎：1例 ◆サルモネラ腸炎：4例 ◆ノロウイルス胃腸炎：1例
◆アデノウイルス胃腸炎：4例
◆咽頭結膜熱：29例 ◆アデノウイルス扁桃炎：182例 ◆RSウイルス感染症：13例 ◆hMPV感染症：62例
◆ヘルペス口内炎：2例

＜済生会下関総合病院小児科 入院症例＞

◆hMPV 感染症：5例（0歳4か月～3歳） ◆インフルエンザ：2例（17歳、5歳）
◆溶連菌感染症：2例（1歳、8歳）
◆蜂窩織炎：1例（8歳） ◆伝染性単核球症：1例（6歳） ◆急性巣状細菌性腎炎：1例（13歳、E.coli）
◆新型コロナウイルス感染症：1例（0歳1か月） ◆川崎病：1例（0歳4か月）
◆アデノウイルス扁桃炎：1例（4歳）

岩国医療センター感染症事例 (9/18～10/15)

◆COVID-19：22例 ◆FluA：19例
◆RSウイルス気管支炎/細気管支炎：2例
◆アデノウイルス咽頭炎：1例
◆急性胃腸炎：13例
◆突発性発疹症：1例
◆川崎病：4例

〔10月の多報告順位〕（○内数字は前回の順位）

- 1) ①新型コロナウイルス感染症
- 2) ②インフルエンザ
- 3) ③感染性胃腸炎
- 4) ⑥A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 5) ④手足口病
- 6) ⑤ヘルパンギーナ
- 7) ⑨咽頭結膜熱
- 8) ⑧突発性発疹
- 9) ⑦RSウイルス感染症
- 10) ⑩水痘

注）月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会にて検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年11月分の総合解析評価結果 第42週（10/16）～ 第46週（11/19）

世界では、イスラエル・ガザ地区、ウクライナ・ロシアにおける抗争が続いている。病院への武力攻撃も行われたことが報じられた。

アイスランドでは火山活動の活発化による地震で被害が発生しており、噴火の危険性から住民避難が始まっている。一方国内では、トカラ列島近海を震源とする地震が9月に急増して以降、11月に入っても相次いでいる。

気候面での変動も認められ、真夏日が持続しており11月に入っても各地で最高気温25度を超える日が続いた。長い夏の影響は、カメムシの大量発生、農業・漁業への影響、紅葉への影響のみではなく、人の生活にも大きな影響を与えた。11月中旬から急な冷え込みを認め、衣服の調整が追い付かないくらいの変動を示している。熊の行動変化と人を襲う個体への対策が議論になっている。駆除にも批判があり、ヒトとの棲み分けの模索、関門海峡を越えるかどうかの監視が行われている。

感染症は、COVID-19の発生数の減少が続いている。11月12日までの報告では、全国の定点報告及び入院患者数ともに減少を続けており、定点報告数5未満の状況が続いている。第39週から全国の基幹定点医療機関からの報告による集計がされているが持続的に減少している。地域別では北海道、長野県の定点当たりの報告数が多く報告されている。検出株はオミクロンの変異株でXBB系統のHK.3系統（EG.5派生株）が最多（25.47%）、次いでEG.5.1（13.04%）、EG.5.1.1（11.18%）で、明らかな新たな変異株の感染拡大は検出されていない。現在のCOVID-19の臨床像の変化は報告されていないが、免疫回避性は考えられている。

インフルエンザAは全国的には第36週あたりから増加し、例年より2～3か月早い流行になっている。第46週（11/13～19）の報告者数は定点当たり21.66（山口県25.64）で中国地方、九州地方を含めほぼ全国で流行、36週以降の推計受診者数は502.5万人。直近のウイルス検出状況ではA/H3N2型（56%）、A/H1pdm09（44%）の順であった。B型の流行は現時点では認められていない。

山口県全体のCOVID-19発生数は低く推移しているが、県東部（岩国、柳井、周南）で患者発生が認められている。インフルエンザAは全県で流行が見られるが、県中央部の発生数が警報レベルである。現在の発生は幼児から小中学生が中心であり、県全体で増加している。検出株はA/H3N2型が主流であったが、9月～10月以降A/H1pdm09型の検出が増えている。

少数であるが日本紅斑熱、SFTSの報告が認められる。手足口病の発生も持続している。

他の感染症も流行が見られ、A群溶血性レンサ球菌感染症、咽頭結膜熱、アデノウイルス急性咽頭扁桃炎の発生は例年に比べて高いレベルである。A群溶血性レンサ球菌感染症の発生が県東部主体、感染性胃腸炎の県央部主体の発生は見られるがノロ・ロタウイルスの検出増加はない。咽頭結膜熱の流行、アデノウイルス急性咽頭扁桃炎の発生増加が周南、宇部、下関で認められている。一方RS、ロタの発生はほとんど見られていない。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告推移	第42週 10/16～10/22	第43週 10/23～10/29	第44週 10/30～11/5	第45週 11/6～11/12	第46週 11/13～11/19
山 口 県	3.16	3.57	2.78	1.85	2.16
全 国	3.25	2.86	2.44	2.01	1.95

インフルエンザ/COVID-19 定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点（週報）（第42～46週）

インフルエンザ：7,056人、新型コロナウイルス感染症：906人、RSウイルス感染症：11人、咽頭結膜熱：270人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：769人、感染性胃腸炎：661人、水痘：14人、手足口病：151人、伝染性紅斑：1人、突発性発しん：80人、ヘルパンギーナ：33人、流行性耳下腺炎：10人、流行性角結膜炎：17人、細菌性髄膜炎：1人、マイコプラズマ肺炎：6人、無菌性髄膜炎：1人

STD 定点及び基幹定点（月報／10月）

性器クラミジア感染症：33人、性器ヘルペスウイルス感染症：8人、尖圭コンジローマ：6人、淋菌感染症：11人、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：29人、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：2人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等（第42～46週）

カンピロバクター腸炎：10人、病原性大腸菌腸炎VT(+)：1人、病原性大腸菌腸炎VT(-)：10人、ロタウイルス胃腸炎：1人、アデノウイルス胃腸炎：6人、ノロウイルス胃腸炎：19人、マイコプラズマ肺炎：16人、アデノウイルス急性咽頭扁桃炎：1098人、hMPV感染症：52人、ヘルペス歯肉口内炎：7人、川崎病：3人

1, 2, 3, 4類及び5類（全数）感染症発生状況（第42～46週）

結核：23人、腸管出血性大腸菌感染症：8人、重症熱性血小板減少症候群：1人、日本紅斑熱：1人、レジオネラ症：2人、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症：4人、急性脳炎：2人、クロイツフェルト・ヤコブ病：1人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症：2人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症：2人、侵襲性インフルエンザ菌感染症：1人、侵襲性肺炎球菌感染症：1人、水痘（入院例）：1人、梅毒：10人

解析：感染症発生動向調査解析評価小委員会

鈴木検査定点情報 (10/16～11/19)

◆咽頭結膜熱：11名 ◆溶連菌感染症：44名 ◆感染性胃腸炎：164名 ◆手足口病：3名
 ◆突発性発疹：3名 ◆ヘルパンギーナ：2名 ◆インフルエンザA型：108名 ◆丹毒：1名（73歳女性）
 ◆熱性けいれん：13名 ◆アデノウイルス咽頭扁桃炎：168名 ◆ヘルペス性歯肉口内炎：2名
 ◆川崎病：1名（4歳男児） ヒトメタニューモウイルス感染症：1名 ◆COVID-19：6名

徳山中央病院入院患者情報 (10/21～11/20)

10月から11月にかけては感染症の入院が減少した。呼吸器と消化管感染症とも少ない。
 ◆インフルエンザA：1例（7歳女児） ◆川崎病：3例（2歳男児、3歳男児、8歳男児）
 ◆熱性けいれん：9例（1歳男児、1歳女児、2歳女児、3歳男児2例、3歳女児、6歳男児2例、7歳女児）
 ◆急性虫垂炎：1例（6歳女児：腸炎に伴う二次性虫垂炎）

山口赤十字病院情報 (10/15～11/14)

コロナ、RS、hMPVは減ったがインフルエンザ、アデノが増えた。
 ◆RSウイルス：今月久々に陽性例なし
 ◆インフルエンザ：流行が継続（陽性44例：全例A型）
 ◆溶連菌感染症：少数見られる ◆ヘルパンギーナ：目立たず
 ◆アデノウイルス：増加傾向、咽頭炎、胃腸炎双方あり、胃腸炎は腸重積患者から
 ◆感染性胃腸炎：上記アデノウイルスのほかノロウイルスも少数あり
 ◆腸管出血性大腸菌O-157（VT1, 2(+)）：1例軽症（当初ノロ抗原(+)、補液で改善後に便培養結果で判明）
 ◆hMPV感染症：院内陽性例なし、入院1例
 ◆COVID-19：先月以降新たな入院例なし、5類移行後累計110人 ◆レジオネラ肺炎：1例
 ◆無菌性髄膜炎：成人例1例（帯状疱疹経過中） ◆疥癬（通常のもの）：成人例1例

下関地域感染症サーベイランス (10/16～11/19)

◆新型コロナウイルス感染症：53例（15歳以上 29例） ◆インフルエンザ：1859例
 ◆ヘルパンギーナ：18例 ◆手足口病：53例 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 170例 ◆突発性発疹：31例
 ◆感染性胃腸炎：241例 ◆VT(+)大腸菌性腸炎：1例 ◆カンピロバクター腸炎：4例
 ◆サルモネラ腸炎：1例 ◆ノロウイルス胃腸炎：20例 ◆アデノウイルス胃腸炎：11例
 ◆咽頭結膜熱：87例 ◆アデノウイルス扁桃炎：330例 ◆RSウイルス感染症：10例 ◆hMPV感染症：10例
 ◆ヘルペス口内炎：3例

＜済生会下関総合病院小児科 入院症例＞

◆インフルエンザ：9例（0歳2か月～20歳） ◆川崎病：5例（0歳4か月～2歳1か月）
 ◆ノロウイルス胃腸炎：2例（0歳7か月、6歳） ◆アデノウイルス咽頭扁桃炎：2例（2歳11か月、3歳）
 ◆突発性発疹：2例（0歳8か月、1歳4か月）
 ◆尿路感染症：2例（AFNB：13歳（E.coli）、UTI：0歳5か月（E.coli））
 ◆粉瘤感染：1例（19歳） ◆急性虫垂炎：1例（15歳） ◆肺炎球菌肺炎：1例（0歳5か月）

岩国医療センター感染症事例 (10/16～11/19)

◆COVID-19：5例（成人例19例）
 ◆FluA：39例（内急性脳症（MERS1：1例）、
 けいれん重積/熱せん妄：3例）
 （成人例：A型37例、B型1例）
 ◆溶連菌感染症：10例（PSAGN：1例）
 ◆マイコプラズマ感染症：4例
 ◆EB伝染性単核球症：1例
 ◆アデノウイルス咽頭炎：2例 ◆hMPV肺炎：2例
 ◆急性胃腸炎：6例 ◆川崎病：2例（2歳/4歳）
 ◆細菌性股関節炎：1例 ◆ITP：2例
 ◆腸重積：1例 ◆虫垂炎：2例

〔11月の多報告順位〕（○内数字は前回の順位）

- 1) ②インフルエンザ
- 2) ①新型コロナウイルス感染症
- 3) ④A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 4) ③感染性胃腸炎
- 5) ⑦咽頭結膜熱
- 6) ⑤手足口病
- 7) ⑧突発性発疹
- 8) ⑥ヘルパンギーナ
- 9) 一流行性角結膜炎
- 10) ⑩水痘

注）月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会で検討を行い再集計した結果を掲載しています。

令和5年12月分の総合解析評価結果 第47週（11/20）～ 第50週（12/17）

暖冬が予想されていたが12月21～22日にこの冬最大の寒波が訪れ、県内でも積雪がみられた。

年末に、プロ野球の 大谷翔平選手、山本由伸選手が相次いで米大リーグのドジャーズと大型契約を結ぶニュースがあり、スポーツ界にとどまらない大きな話題になった。しかし世間は夢のある話ばかりではない。イスラエル、ウクライナの戦争は落ち着く気配がなく、わが国でも沖縄の辺野古基地問題、更には政治資金問題など山積している。年間を通して、各業種の働き方改革やハラスメントが話題になった一年でもあった。

感染症に関しては、12月13日に国内初のエムボックス患者死亡例が報告された。

<第47週～50週の感染症発生動向>

新型コロナウイルスは、先月第45週に週定点当たり1.85まで減少していたがその後増加に転じ、第50週には県全体で5.16、最多の山口管内では8.75まで上昇した。年末に向けての帰省や諸行事などの人流でさらに増加することが懸念される。今月県のゲノムサーベイランスでは、XBB.1.5、EG.5、BA.2.86及びBA.2.86から派生したJN.1が確認されている。

インフルエンザは増加傾向が続き、12月13日に県の週定点当たりの発生が30を超えて警報が発令された。山口管内ではすでに13週警報レベルの流行が続いている。他に岩国、柳井、周南、防府、宇部が警報レベルとなっている。9月まではA/H3香港が大半を占めていたが10、11月にはA/H1pdm09との混在となっている。B型も確認した、と臨床現場からの情報が聞こえてくるが、20日県発表の時点ではまだ実際に確定されたB型の検体はない。

アデノは全国的に10年ぶりの大流行と言われており、県内でも患者発生が続いている。咽頭結膜熱、咽頭扁桃炎、胃腸炎などの病型が併存している。咽頭結膜熱の週・定点当たりの報告数が3を超え、警報レベルとなっている。定点報告の検体からは1型、3型が確認されている。A群溶連菌感染症も例年よりかなり多い。胃腸炎も例年通り増加傾向となっているが、小児科定点からの報告ではノロウイルスがその大半を占めており、地区として宇部、下関、山口管内に偏在していることが示されている。定点報告の検体からはノロGⅡが確認されている。そのほか小児科定点の報告では、山口管内でのヒトメタニューモウイルス多発が目立つ。先月まで流行が見られていた手足口病は減少した。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告推移	第47週 11/20～10/22	第48週 11/26～12/3	第49週 12/4～12/10	第50週 12/11～12/17
山 口 県	2.60	2.84	3.79	5.16
全 国	2.33	2.75	3.52	4.15

インフルエンザ/COVID-19 定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点（週報）（第47～50週）

インフルエンザ：7,878人、新型コロナウイルス感染症：964人、RSウイルス感染症：10人、咽頭結膜熱：486人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：759人、感染性胃腸炎：1,125人、水痘：25人、手足口病：63人、伝染性紅斑：1人、突発性発しん：44人、ヘルパンギーナ：8人、流行性耳下腺炎：2人、流行性角結膜炎：45人、マイコプラズマ肺炎：2人

STD 定点及び基幹定点（月報／11月）

性器クラミジア感染症：32人、性器ヘルペスウイルス感染症：6人、尖圭コンジローマ：10人、淋菌感染症：5人、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：24人

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等（第47～50週）

カンピロバクター腸炎：9人、病原性大腸菌腸炎 VT(-)：11人、アデノウイルス胃腸炎：3人、ノロウイルス胃腸炎：115人、マイコプラズマ肺炎：3人、アデノウイルス急性咽頭扁桃炎：1,270人、hMPV 感染症：22人、ヘルペス歯肉口内炎：1人

1, 2, 3, 4 類及び5 類（全数）感染症発生状況（第47～50 週）

結核：16人、腸管出血性大腸菌感染症：2人、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症：3人、急性脳炎：1人、水痘（入院例）：1人、梅毒：8人

鈴木検査定点情報 (11/20～12/17)

- ◆RS ウイルス感染症：1名 ◆咽頭結膜熱：11名 ◆溶連菌感染症：67名 ◆感染性胃腸炎：270名
- ◆手足口病：10名 ◆ヘルパンギーナ：5名 ◆インフルエンザA型：275名 ◆熱性けいれん：8名
- ◆ノロウイルス性胃腸炎：24名 ◆アデノウイルス咽頭扁桃炎：143名
- ◆ヒトメタニューモウイルス感染症：3名 ◆COVID-19：26名 ◆パラインフルエンザ：4名

徳山中央病院入院患者情報 (11/21～12/20)

- 11月から12月にかけては感染症を含めて、入院が増加したが、12月中旬以降は再び減少に転じている。
- ◆インフルエンザA：2例（3歳男児、3歳女児）
 - ◆COVID-19：3例（0歳2か月女児、0歳9か月女児、2歳男児）
 - ◆パラインフルエンザウイルス気管支炎：1例（1歳男児） ◆hMPV 気管支炎：1例（3歳女児）
 - ◆川崎病：1例（5歳男児） ◆熱性けいれん：3例（1歳男児、1歳女児、3歳女児）
 - ◆高安動脈炎疑い：1例（0歳7か月女児、発熱の持続、白血球増加＜好中球優位＞、CRP陽性、血沈亢進、抗菌薬不応、造影CTで胸部・腹部大動脈の壁肥厚あり、山大小児科へ転院）
 - ◆腫瘍形成性虫垂炎：1例（14歳女児、Retrocecal appendicitisが腫瘍を形成したものと考えた。抗菌薬による保存療法が奏功せず。腹腔鏡下ドレナージで軽快傾向）
 - ◆腸重積症1例（1歳男児、アデノウイルス陽性）

山口赤十字病院情報 (11/15～12/14)

- コロナ、RS、hMPVは減ったがインフルエンザ、アデノが増えた。
- ◆RSウイルス：陽性例なし
 - ◆インフルエンザ：流行が継続（陽性62例：全例A型、県への提出検体からH3：1人、H1pdm09：0人）
 - ◆溶連菌感染症：少数見られる ◆ヘルパンギーナ：目立たず
 - ◆アデノウイルス：増加傾向、咽頭炎、胃腸炎双方あり
 - ◆感染性胃腸炎：上記アデノのほか今月ノロが増加 ◆hMPV感染症：院内陽性例1人、入院2人
 - ◆COVID-19：今月久々に新たな入院例あり 5類移行後累計115人
 - ◆川崎病：2例（5歳女児：IVIg 2クール実施・CAL形成なし、2歳女児：7病日に熱が続くと紹介・4/6症状・すぐに解熱し経過を見ていたが11病日に落屑が出現し川崎病であったと判断・ASA開始）

下関地域感染症サーベイランス (11/20～12/17)

- ◆新型コロナウイルス感染症：91例（15歳以上 53例）
- ◆インフルエンザ：1546例（B型：3例、A型2回目：4例 含む）
- ◆ヘルパンギーナ：2例 ◆手足口病：8例 ◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：181例 ◆突発疹：12例
- ◆感染性胃腸炎：315例 ◆VT(-)大腸菌性腸炎：2例（0-6、0-18） ◆カンピロバクター腸炎：7例
- ◆ノロウイルス胃腸炎：43例 ◆アデノウイルス胃腸炎：4例
- ◆咽頭結膜熱：155例 ◆アデノウイルス扁桃炎：499例 ◆RSウイルス感染症：5例
- ◆ヘルペス口内炎：3例

＜済生会下関総合病院小児科 入院症例＞

- ◆インフルエンザ：8例（1歳0か月～11歳） ◆COVID-19：4例（0歳5か月～5歳）
- ◆アデノウイルス咽頭扁桃炎：2例（2歳11か月、3歳）
- ◆ノロウイルス胃腸炎：1例（5歳） ◆インフルエンザ菌肺炎：1例（2歳7か月）
- ◆ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群（SSSS）：1例（1歳10か月） ◆ヘルペス性歯肉口内炎：1例（14歳）
- ◆伝染性単核球症：1例（5歳）

岩国医療センター感染症事例 (11/20～12/17)

- ◆COVID-19：6名（成人51例）
- ◆EBウイルス感染症：2名
- ◆アデノウイルス咽頭炎：13名
- ◆インフルエンザA：59名（成人A：58例、B：1例）
- ◆hMPV：1名 ◆手足口病：1例
- ◆溶連菌感染症：8名（溶連菌感染後急性糸球体腎炎：1例）
- ◆川崎病：4例（1歳：2例、2歳：2例） ◆IgA血管炎：2例

[12月の多報告順位] (○内数字は前回の順位)

- 1) ①インフルエンザ
- 2) ④感染性胃腸炎
- 3) ②新型コロナウイルス感染症
- 4) ③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 5) ⑤咽頭結膜熱
- 6) ⑥手足口病
- 7) ⑨流行性角結膜炎
- 8) ⑦突発性発疹
- 9) ⑩水痘
- 10) -RSウイルス感染症

注) 月報中の患者報告数・定点当たり報告数について

週報において、定点医療機関から極端に多い（または少ない）数が報告されたものについては、感染症発生動向調査解析評価小委員会にて検討を行い再集計した結果を掲載しています。

3. 各月の圏域別集計表(報告数・定点あたり報告数)

2023年1月圏域別集計表(報告数)(第50週～第2週)

[illegible]

2023年2月圏域別集計表(報告数)(第3週～第7週)

[illegible]

2023年3月圏域別集計表(報告数)(第8週～第10週)

[illegible]

2023年4月圏域別集計表(報告数)(第11週～第15週)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ定点	8	5	11	5	8	11	3	3	12	66
インフルエンザ	750	68	150	23	47	132	12	22	388	1,592
小児科定点	5	3	8	3	5	8	2	2	9	45
RSウイルス感染症	7	4	30	1	11	20	0	3	73	149
咽頭結膜熱	11	5	4	1	0	0	1	0	5	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	2	49	1	5	8	1	0	21	94
感染性胃腸炎	58	74	272	33	143	162	94	3	126	965
水痘	5	0	1	2	1	3	0	0	3	15
手足口病	0	1	1	1	0	1	0	1	1	6
伝染性紅斑	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
突発性発しん	0	2	21	5	10	24	0	3	20	85
ヘルパンギーナ	0	0	4	8	2	5	0	0	19	38
流行性耳下腺炎	0	0	3	0	0	0	0	0	1	4
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	4	3	0	0	0	0	0	4	12
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
STD定点(月報/3月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	6	0	15	0	5	4	1	0	10	41
性器ヘルペスウイルス感染症	0	0	6	0	1	2	0	0	1	10
尖圭コンジローマ	0	0	2	0	0	0	1	0	2	5
淋菌感染症	4	0	4	0	1	1	0	0	4	14
基幹定点(月報/3月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	0	2	22	0	4	1	6	6	44
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※第14週から定点数を変更しています。(宇部インフルエンザ定点数:10、宇部小児科定点数:6、
県全体インフルエンザ定点数:65、県全体小児科定点数:43)

2023年5月圏域別集計表(報告数)(第16週～第19週)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ定点(※1)	8	5	11	5	8	10	3	3	12	65
インフルエンザ	67	13	54	119	89	47	1	8	104	502
新型コロナウイルス感染症(※2)	19	8	24	5	16	12	4	3	11	102
小児科定点	5	3	8	3	5	6	2	2	9	43
RSウイルス感染症	39	2	34	1	14	40	4	0	163	297
咽頭結膜熱	7	0	15	3	0	0	0	0	5	30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	6	68	1	7	3	0	1	14	142
感染性胃腸炎	42	41	235	35	76	134	64	12	71	710
水痘	5	0	4	0	0	5	0	0	8	22
手足口病	0	1	4	0	2	0	0	0	3	10
伝染性紅斑	0	0	1	0	0	3	0	0	0	4
突発性発しん	0	0	17	4	9	19	6	2	11	68
ヘルパンギーナ	0	1	16	3	6	27	2	5	43	103
流行性耳下腺炎	1	0	1	0	4	0	0	0	1	7
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	3	2	0	1	0	0	0	0	6
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
STD定点(月報/4月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	3	0	12	1	8	0	1	0	5	30
性器ヘルペスウイルス感染症	0	0	3	0	0	2	1	0	1	7
尖圭コンジローマ	0	0	2	0	0	0	0	0	4	6
淋菌感染症	1	0	9	0	1	0	0	0	1	12
基幹定点(月報/4月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	3	1	7	0	2	0	10	2	25
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1: 第19週から定点数名称が「インフルエンザ／COVID-19定点」に変更されています。

また、第18週から定点数を変更しています。(下関:13、周南:12、県全体:67)

※2: 第19週分のみの報告数です。

2023年6月圏域別集計表(報告数)(第20週～第24週)

[illegible]

2023年7月圏域別集計表(報告数)(第25週～第28週)

[illegible]

2023年8月圏域別集計表(報告数)(第29週～第32週)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ／COVID-19定点	8	5	12	5	8	10	3	3	13	67
インフルエンザ	55	2	128	42	74	157	86	6	158	708
新型コロナウイルス感染症	745	263	774	425	778	592	112	260	724	4,673
小児科定点	5	3	8	3	5	6	2	2	9	43
RSウイルス感染症	39	3	118	61	33	145	29	8	64	500
咽頭結膜熱	1	0	4	3	1	1	0	0	1	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	98	7	25	2	3	34	0	1	17	187
感染性胃腸炎	13	10	191	13	56	153	31	2	35	504
水痘	0	1	0	6	0	0	1	1	3	12
手足口病	47	20	144	102	57	70	10	15	97	562
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8
突発性発しん	0	1	14	4	4	11	4	1	14	53
ヘルパンギーナ	11	39	141	55	54	65	7	11	80	463
流行性耳下腺炎	11	1	1	1	0	1	0	0	2	17
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	3	1	0	0	0	0	0	1	5
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
STD定点(月報/7月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	12	0	14	0	7	0	1	0	5	39
性器ヘルペスウイルス感染症	0	0	2	0	0	1	2	0	4	9
尖圭コンジローマ	0	0	1	0	1	2	0	0	6	10
淋菌感染症	2	0	6	0	2	0	0	0	2	12
基幹定点(月報/7月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	4	1	14	0	3	0	7	4	33
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※第32週から定点数を変更しています。(周南インフルエンザ／COVID-19定点数:11、周南小児科定点

2023年9月圏域別集計表(報告数)(第33週～第37週)

[illegible]

2023年10月圏域別集計表(報告数)(第38週～第41週)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ定点	8	5	12	5	8	10	3	3	13	67
インフルエンザ	328	210	786	378	1,023	820	98	54	784	4,481
新型コロナウイルス感染症	265	203	301	151	302	266	46	105	252	1,891
小児科定点	5	3	8	3	5	6	2	2	9	43
RSウイルス感染症	0	0	5	1	0	3	1	2	11	23
咽頭結膜熱	11	14	22	2	2	19	0	0	27	97
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	123	3	85	6	15	44	3	2	45	326
感染性胃腸炎	15	5	172	16	42	107	41	2	69	469
水痘	0	1	0	12	2	0	0	0	0	15
手足口病	25	10	115	19	74	9	15	1	54	322
伝染性紅斑	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
突発性発しん	1	5	18	1	7	13	3	1	13	62
ヘルパンギーナ	9	0	49	6	22	17	15	4	27	149
流行性耳下腺炎	1	1	9	0	0	0	0	0	0	11
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	2	4	2	0	2	2	0	0	1	13
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
STD定点(月報/9月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	11	0	11	1	9	4	4	0	4	44
性器ヘルペスウイルス感染症	0	0	5	0	0	1	1	0	5	12
尖圭コンジローマ	0	0	2	0	1	3	0	0	4	10
淋菌感染症	1	0	7	0	1	1	0	0	2	12
基幹定点(月報/9月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	2	1	9	1	4	0	9	8	37
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

2023年11月圏域別集計表(報告数)(第42週～第46週)

[illegible]

2023年12月圏域別集計表(報告数)(第47週～第50週)

[illegible]

2023年1月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第50週～第2週)

[illegible]

2023年2月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第3週～第7週)

[illegible]

2023年3月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第8週～第10週)

[illegible]

2023年4月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第11週～第15週)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ定点	8	5	11	5	8	11	3	3	12	66
インフルエンザ	93.75	13.60	13.64	4.60	5.88	12.45	4.00	7.33	32.33	24.27
小児科定点	5	3	8	3	5	8	2	2	9	45
RSウイルス感染症	1.40	1.33	3.75	0.33	2.20	2.78	0.00	1.50	8.11	3.37
咽頭結膜熱	2.20	1.67	0.50	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00	0.56	0.61
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	0.67	6.13	0.33	1.00	1.11	0.50	0.00	2.33	2.13
感染性胃腸炎	11.60	24.67	34.00	11.00	28.60	22.50	47.00	1.50	14.00	21.83
水痘	1.00	0.00	0.13	0.67	0.20	0.42	0.00	0.00	0.33	0.34
手足口病	0.00	0.33	0.13	0.33	0.00	0.14	0.00	0.50	0.11	0.14
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05
突発性発しん	0.00	0.67	2.63	1.67	2.00	3.33	0.00	1.50	2.22	1.92
ヘルパンギーナ	0.00	0.00	0.50	2.67	0.40	0.69	0.00	0.00	2.11	0.86
流行性耳下腺炎	0.00	0.00	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11	0.09
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	1.00	4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	2.00	1.33
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
STD定点(月報/3月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	3.00	－	7.50	0.00	5.00	2.00	1.00	－	5.00	3.42
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	－	3.00	0.00	1.00	1.00	0.00	－	0.50	0.83
尖圭コンジローマ	0.00	－	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	－	1.00	0.42
淋菌感染症	2.00	－	2.00	0.00	1.00	0.50	0.00	－	2.00	1.17
基幹定点(月報/3月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.00	0.00	2.00	22.00	0.00	4.00	1.00	6.00	6.00	4.89
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※第14・15週は変更後の定点数をもとに集計しております。(宇部インフルエンザ定点数:10、宇部小児科定点数:6、県全体インフルエンザ定点数:65、県全体小児科定点数:43)

2023年5月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第16週～第19週)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ定点(※1)	8	5	11	5	8	10	3	3	12	65
インフルエンザ(※2)	8.38	2.60	4.70	23.80	11.13	4.70	0.33	2.67	8.32	7.55
新型コロナウイルス感染症(※3)	2.38	1.60	2.00	1.00	2.00	1.20	1.33	1.00	0.85	1.52
小児科定点	5	3	8	3	5	6	2	2	9	43
RSウイルス感染症	7.80	0.67	4.25	0.33	2.80	6.67	2.00	0.00	18.11	6.91
咽頭結膜熱	1.40	0.00	1.88	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.56	0.70
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.40	2.00	8.50	0.33	1.40	0.50	0.00	0.50	1.56	3.30
感染性胃腸炎	8.40	13.67	29.38	11.67	15.20	22.33	32.00	6.00	7.89	16.51
水痘	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.83	0.00	0.00	0.89	0.51
手足口病	0.00	0.33	0.50	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.33	0.23
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.13	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.09
突発性発しん	0.00	0.00	2.13	1.33	1.80	3.17	3.00	1.00	1.22	1.58
ヘルパンギーナ	0.00	0.33	2.00	1.00	1.20	4.50	1.00	2.50	4.78	2.40
流行性耳下腺炎	0.20	0.00	0.13	0.00	0.80	0.00	0.00	0.00	0.11	0.16
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.00	3.00	2.00	0.00	1.00	0.00	－	0.00	0.00	0.67
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
STD定点(月報/4月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	1.50	－	6.00	0.50	8.00	0.00	1.00	－	2.50	2.50
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	－	1.50	0.00	0.00	1.00	1.00	－	0.50	0.58
尖圭コンジローマ	0.00	－	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	2.00	0.50
淋菌感染症	0.50	－	4.50	0.00	1.00	0.00	0.00	－	0.50	1.00
基幹定点(月報/4月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.00	3.00	1.00	7.00	0.00	2.00	0.00	10.00	2.00	2.78
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※1: 第19週から定点数名称が「インフルエンザ／COVID-19定点」に変更されています。

また、第18週から定点数を変更しています。(変更後の定点数: 下関13、周南12、県全体67)

※2: 第18・19週は変更後の定点数(※1)をもとに集計しております。

※3: 第19週分のみの定点当たり報告数です。

2023年6月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第20週～第24週)

[illegible]

2023年7月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第25週～第28週)

[illegible]

2023年8月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第29週～第32週)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ／COVID-19定点	8	5	12	5	8	10	3	3	13	67
インフルエンザ	6.88	0.40	10.89	8.40	9.25	15.70	28.67	2.00	12.15	10.61
新型コロナウイルス感染症	93.13	52.60	65.87	85.00	97.25	59.20	37.33	86.67	55.69	70.01
小児科定点	5	3	8	3	5	6	2	2	9	43
RSウイルス感染症	7.80	1.00	15.23	20.33	6.60	24.17	14.50	4.00	7.11	11.70
咽頭結膜熱	0.20	0.00	0.52	1.00	0.20	0.17	0.00	0.00	0.11	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19.60	2.33	3.23	0.67	0.60	5.67	0.00	0.50	1.89	4.37
感染性胃腸炎	2.60	3.33	24.65	4.33	11.20	25.50	15.50	1.00	3.89	11.79
水痘	0.00	0.33	0.00	2.00	0.00	0.00	0.50	0.50	0.33	0.28
手足口病	9.40	6.67	18.58	34.00	11.40	11.67	5.00	7.50	10.78	13.15
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.19
突発性発しん	0.00	0.33	1.81	1.33	0.80	1.83	2.00	0.50	1.56	1.24
ヘルパンギーナ	2.20	13.00	18.19	18.33	10.80	10.83	3.50	5.50	8.89	10.83
流行性耳下腺炎	2.20	0.33	0.13	0.33	0.00	0.17	0.00	0.00	0.22	0.40
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.00	3.00	1.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.50	0.56
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.33
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
STD定点(月報/7月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	6.00	－	7.00	0.00	7.00	0.00	1.00	－	2.50	3.25
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	－	1.00	0.00	0.00	0.50	2.00	－	2.00	0.75
尖圭コンジローマ	0.00	－	0.50	0.00	1.00	1.00	0.00	－	3.00	0.83
淋菌感染症	1.00	－	3.00	0.00	2.00	0.00	0.00	－	1.00	1.00
基幹定点(月報/7月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.00	4.00	1.00	14.00	0.00	3.00	0.00	7.00	4.00	3.67
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.44
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※第32週は変更後の定点数をもとに集計しております。(周南インフルエンザ／COVID-19定点数:11、周南小児科定点数:7、県全体インフルエンザ／COVID-19定点数:66、県全体小児科定点数:42)

2023年9月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第33週～第37週)

[illegible]

2023年10月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第38週～第41週)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ定点	8	5	12	5	8	10	3	3	13	67
インフルエンザ	41.00	42.00	65.50	75.60	127.88	82.00	32.67	18.00	60.31	66.88
新型コロナウイルス感染症	33.13	40.60	25.08	30.20	37.75	26.60	15.33	35.00	19.38	28.22
小児科定点	5	3	8	3	5	6	2	2	9	43
RSウイルス感染症	0.00	0.00	0.63	0.33	0.00	0.50	0.50	1.00	1.22	0.53
咽頭結膜熱	2.20	4.67	2.75	0.67	0.40	3.17	0.00	0.00	3.00	2.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24.60	1.00	10.63	2.00	3.00	7.33	1.50	1.00	5.00	7.58
感染性胃腸炎	3.00	1.67	21.50	5.33	8.40	17.83	20.50	1.00	7.67	10.91
水痘	0.00	0.33	0.00	4.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.35
手足口病	5.00	3.33	14.38	6.33	14.80	1.50	7.50	0.50	6.00	7.49
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
突発性発しん	0.20	1.67	2.25	0.33	1.40	2.17	1.50	0.50	1.44	1.44
ヘルパンギーナ	1.80	0.00	6.13	2.00	4.40	2.83	7.50	2.00	3.00	3.47
流行性耳下腺炎	0.20	0.33	1.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.26
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	2.00	4.00	2.00	0.00	2.00	2.00	－	0.00	0.50	1.44
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
STD定点(月報/9月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	5.50	－	5.50	0.50	9.00	2.00	4.00	－	2.00	3.67
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	－	2.50	0.00	0.00	0.50	1.00	－	2.50	1.00
尖圭コンジローマ	0.00	－	1.00	0.00	1.00	1.50	0.00	－	2.00	0.83
淋菌感染症	0.50	－	3.50	0.00	1.00	0.50	0.00	－	1.00	1.00
基幹定点(月報/9月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.00	2.00	1.00	9.00	1.00	4.00	0.00	9.00	8.00	4.11
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.44
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.11

2023年11月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第42週～第46週)

[illegible]

2023年12月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第47週～第50週)

[illegible]

2023年1月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第50週～第2週)(1週あたり)

[illegible]

2023年2月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第3週～第7週)(1週あたり)

[illegible]

2023年3月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第8週～第10週)(1週あたり)

[illegible]

2023年4月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第11週～第15週)(1週あたり)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ定点	8	5	11	5	8	11	3	3	12	66
インフルエンザ	18.75	2.72	2.73	0.92	1.18	2.49	0.80	1.47	6.47	4.85
小児科定点	5	3	8	3	5	8	2	2	9	45
RSウイルス感染症	0.28	0.27	0.75	0.07	0.44	0.56	0.00	0.30	1.62	0.67
咽頭結膜熱	0.44	0.33	0.10	0.07	0.00	0.00	0.10	0.00	0.11	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.28	0.13	1.23	0.07	0.20	0.22	0.10	0.00	0.47	0.43
感染性胃腸炎	2.32	4.93	6.80	2.20	5.72	4.50	9.40	0.30	2.80	4.37
水痘	0.20	0.00	0.03	0.13	0.04	0.08	0.00	0.00	0.07	0.07
手足口病	0.00	0.07	0.03	0.07	0.00	0.03	0.00	0.10	0.02	0.03
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
突発性発しん	0.00	0.13	0.53	0.33	0.40	0.67	0.00	0.30	0.44	0.38
ヘルパンギーナ	0.00	0.00	0.10	0.53	0.08	0.14	0.00	0.00	0.42	0.17
流行性耳下腺炎	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.20	0.80	0.60	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.40	0.27
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
STD定点(月報/3月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	0.60	－	1.50	0.00	1.00	0.40	0.20	－	1.00	0.68
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	－	0.60	0.00	0.20	0.20	0.00	－	0.10	0.17
尖圭コンジローマ	0.00	－	0.20	0.00	0.00	0.00	0.20	－	0.20	0.08
淋菌感染症	0.40	－	0.40	0.00	0.20	0.10	0.00	－	0.40	0.23
基幹定点(月報/3月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.60	0.00	0.40	4.40	0.00	0.80	0.20	1.20	1.20	0.98
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※第14・15週は変更後の定点数をもとに集計しております。(宇部インフルエンザ定点数:10、宇部小児科定点数:6、県全体インフルエンザ定点数:65、県全体小児科定点数:43)

2023年5月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第16週～第19週)(1週あたり)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ定点(※1)	8	5	11	5	8	11	3	3	12	66
インフルエンザ(※2)	2.09	0.65	1.17	5.95	2.78	1.07	0.08	0.67	2.08	1.89
新型コロナウイルス感染症(※3)	2.38	1.60	2.00	1.00	2.00	1.09	1.33	1.00	0.85	1.52
小児科定点	5	3	8	3	5	6	2	2	9	43
RSウイルス感染症	1.95	0.17	1.06	0.08	0.70	1.67	0.50	0.00	4.53	1.73
咽頭結膜熱	0.35	0.00	0.47	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.10	0.50	2.13	0.08	0.35	0.13	0.00	0.13	0.39	0.83
感染性胃腸炎	2.10	3.42	7.34	2.92	3.80	5.58	8.00	1.50	1.97	4.13
水痘	0.25	0.00	0.13	0.00	0.00	0.21	0.00	0.00	0.22	0.13
手足口病	0.00	0.08	0.13	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.08	0.06
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.02
突発性発しん	0.00	0.00	0.53	0.33	0.45	0.79	0.75	0.25	0.31	0.40
ヘルパンギーナ	0.00	0.08	0.50	0.25	0.30	1.13	0.25	0.63	1.19	0.60
流行性耳下腺炎	0.05	0.00	0.03	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.03	0.04
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.00	0.75	0.50	0.00	0.25	0.00	－	0.00	0.00	0.17
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
STD定点(月報/4月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	0.38	－	1.50	0.13	2.00	0.00	0.25	－	0.63	0.63
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	－	0.38	0.00	0.00	0.25	0.25	－	0.13	0.15
尖圭コンジローマ	0.00	－	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.50	0.13
淋菌感染症	0.13	－	1.13	0.00	0.25	0.00	0.00	－	0.13	0.25
基幹定点(月報/4月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.00	0.75	0.25	1.75	0.00	0.50	0.00	2.50	0.50	0.69
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※1:第19週から定点数名称が「インフルエンザ／COVID-19定点」に変更されています。

また、第18週から定点数を変更しています。(変更後の定点数:下関13、周南12、県全体67)

※2:第18・19週は変更後の定点数(※1)をもとに集計しております。

※3:第19週分のみの定点当たり報告数(1週当たり)です。

2023年6月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第20週～第24週)(1週あたり)

[illegible]

2023年7月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第25週～第28週)(1週あたり)

[illegible]

2023年8月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第29週～第32週)(1週あたり)

[illegible]

2023年9月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第33週～第37週)(1週あたり)

[illegible]

2023年10月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第38週～第41週)(1週あたり)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	合計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祿市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
インフルエンザ定点	8	5	12	5	8	10	3	3	13	67
インフルエンザ	10.25	10.50	16.38	18.90	31.97	20.50	8.17	4.50	15.08	16.72
新型コロナウイルス感染症	8.28	10.15	6.27	7.55	9.44	6.65	3.83	8.75	4.85	7.06
小児科定点	5	3	8	3	5	6	2	2	9	43
RSウイルス感染症	0.00	0.00	0.16	0.08	0.00	0.13	0.13	0.25	0.31	0.13
咽頭結膜熱	0.55	1.17	0.69	0.17	0.10	0.79	0.00	0.00	0.75	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6.15	0.25	2.66	0.50	0.75	1.83	0.38	0.25	1.25	1.90
感染性胃腸炎	0.75	0.42	5.38	1.33	2.10	4.46	5.13	0.25	1.92	2.73
水痘	0.00	0.08	0.00	1.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09
手足口病	1.25	0.83	3.59	1.58	3.70	0.38	1.88	0.13	1.50	1.87
伝染性紅斑	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
突発性発しん	0.05	0.42	0.56	0.08	0.35	0.54	0.38	0.13	0.36	0.36
ヘルパンギーナ	0.45	0.00	1.53	0.50	1.10	0.71	1.88	0.50	0.75	0.87
流行性耳下腺炎	0.05	0.08	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06
眼科定点	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.50	1.00	0.50	0.00	0.50	0.50	－	0.00	0.13	0.36
基幹定点(週報)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
STD定点(月報/9月)	2	0	2	2	1	2	1	0	2	12
性器クラミジア感染症	1.38	－	1.38	0.13	2.25	0.50	1.00	－	0.50	0.92
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	－	0.63	0.00	0.00	0.13	0.25	－	0.63	0.25
尖圭コンジローマ	0.00	－	0.25	0.00	0.25	0.38	0.00	－	0.50	0.21
淋菌感染症	0.13	－	0.88	0.00	0.25	0.13	0.00	－	0.25	0.25
基幹定点(月報/9月)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.75	0.50	0.25	2.25	0.25	1.00	0.00	2.25	2.00	1.03
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.03

2023年11月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第42週～第46週)(1週あたり)

[illegible]

2023年12月圏域別集計表(定点当たり報告数)(第47週～第50週)(1週あたり)

[illegible]

2022年5月分年齢階級別集計表

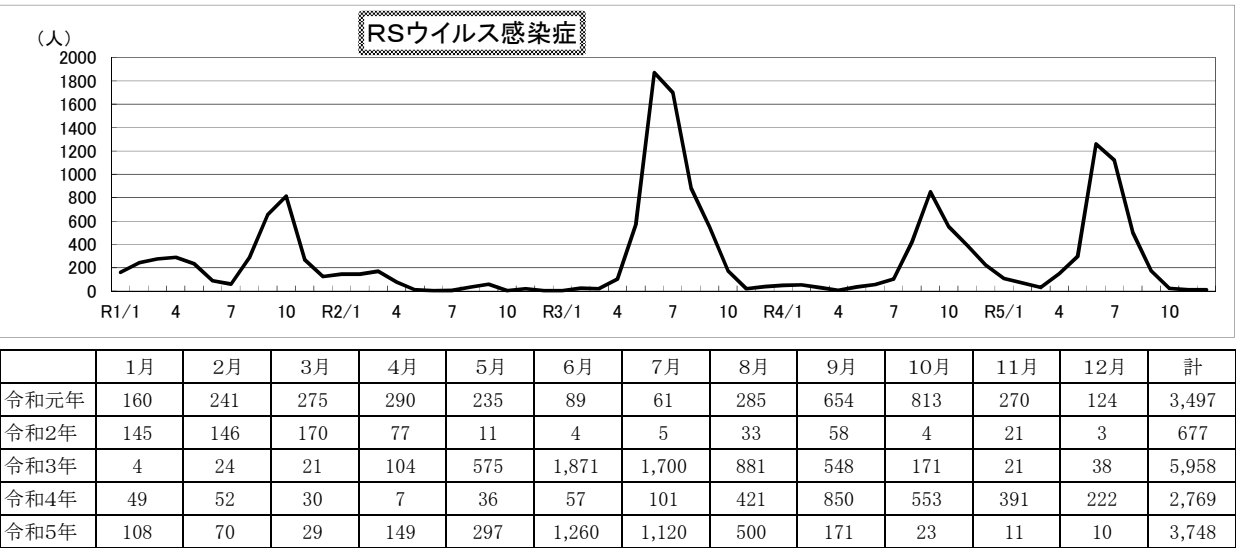
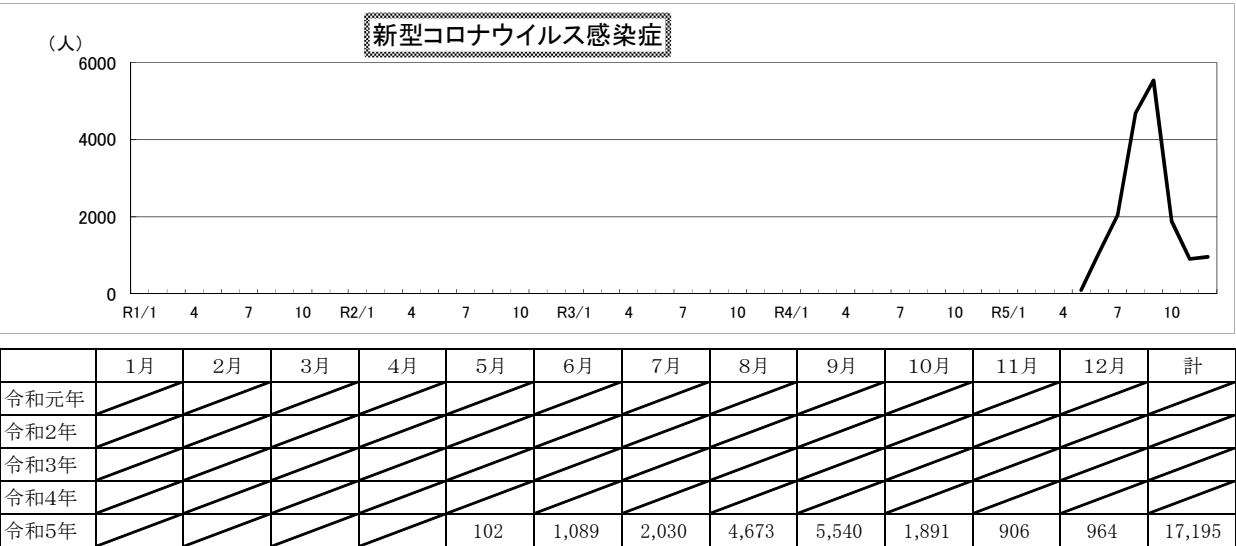
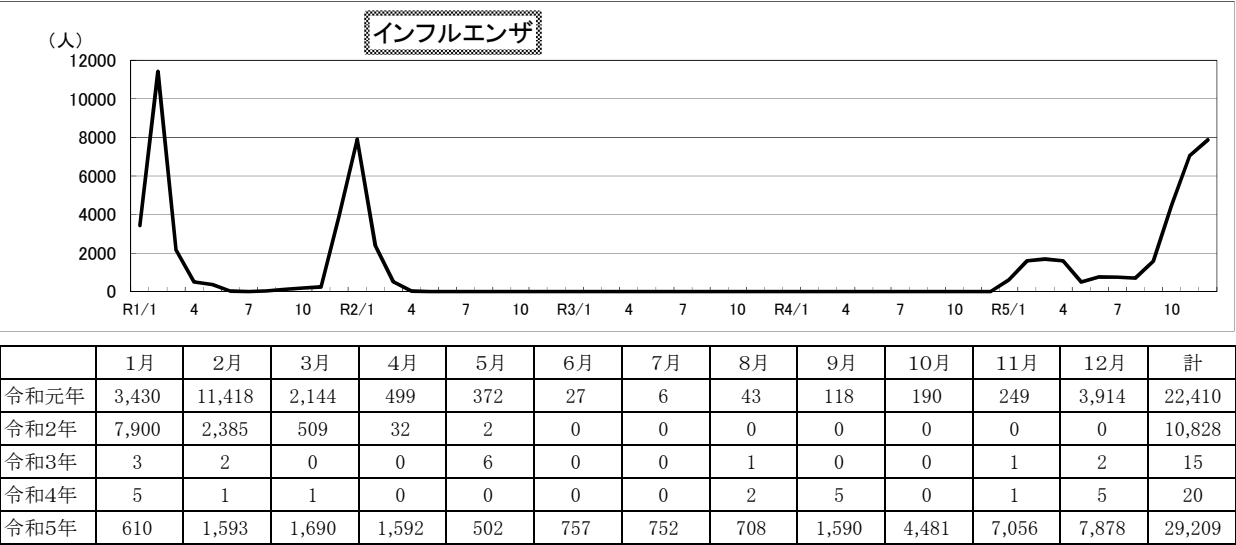
(第16週～第19週)

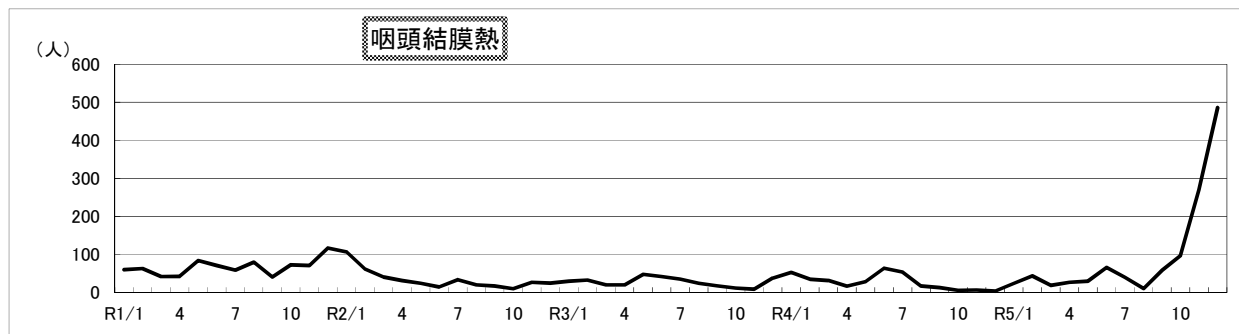
	計																				
	6ヶ月	12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳	
①	インフルエンザ																				
①	102	1	3	6	7	2	3	1	2	3	2	3	13	5	12	9	8	6	6	2	
②	201	13	13	64	33	40	24	11	1	1	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	
②	22	0	3	6	10	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	
②	95	1	0	7	4	11	11	13	10	17	8	2	9	1	1	-	-	-	-	-	
②	510	3	21	70	65	59	54	64	39	25	19	30	52	4	5	-	-	-	-	-	
②	13	2	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	2	0	0	-	-	-	-	-	
②	3	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	
②	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	-	-	-	-	-	
②	47	0	12	29	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	
②	59	1	3	21	14	14	2	4	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	
②	6	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	
③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
③	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	-	
④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	

4月分月報	計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳-
性器クラミジア感染症	30	0	0	0	0	4	9	6	3	5	0	0	3	0	0	0	0
性器ヘルペスウイルス感染症	7	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0
尖圭コンジローマ	6	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0
淋菌感染症	12	0	0	0	0	1	4	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	25	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	20
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

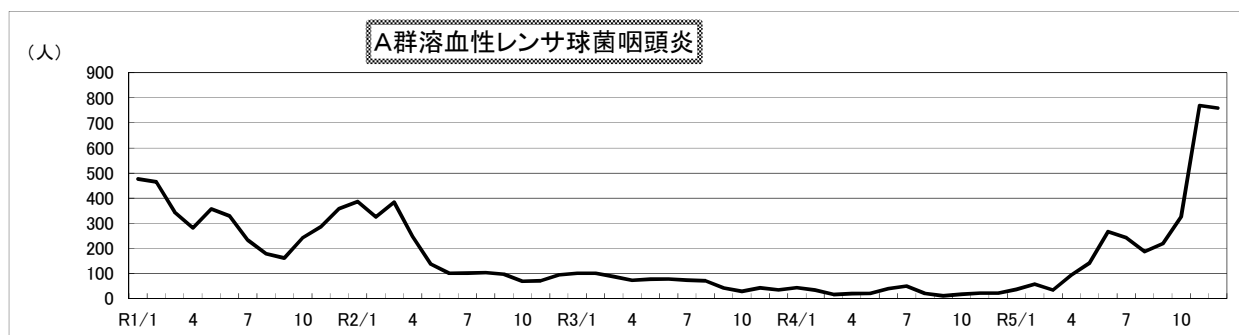
※新型コロナウイルス感染症19週のみ

5. 年次別・月別感染症発生状況(定点報告)

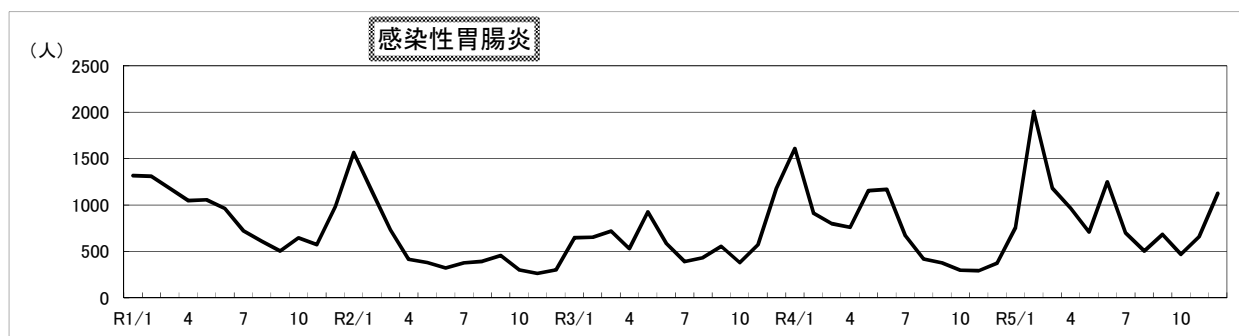




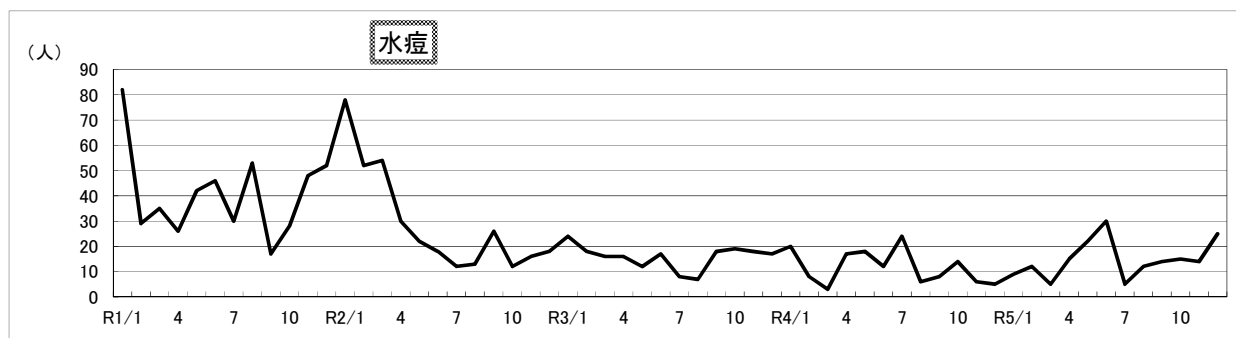
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	60	63	42	43	84	71	59	80	41	73	71	117	804
令和2年	107	62	41	32	25	15	34	20	17	10	27	25	415
令和3年	30	33	20	20	48	42	35	24	18	12	9	38	329
令和4年	53	35	32	17	29	64	54	17	13	6	7	4	331
令和5年	24	44	19	27	30	66	40	11	59	97	270	486	1,173



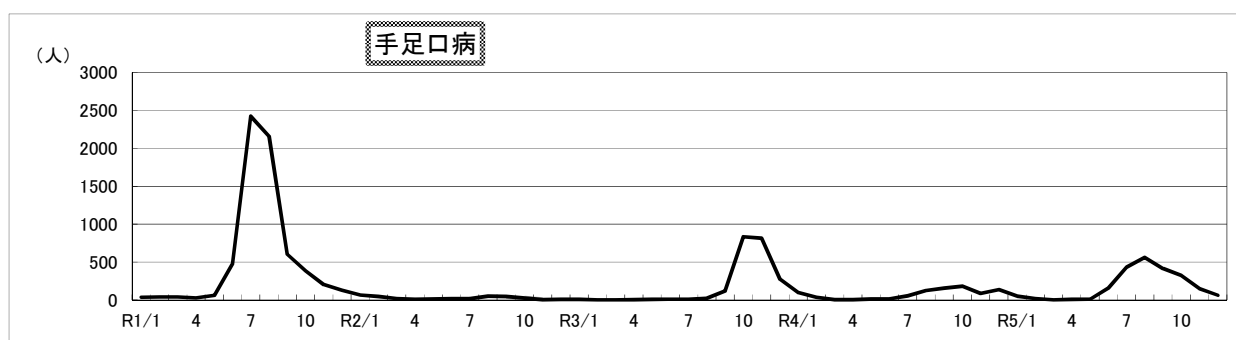
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	477	465	345	281	357	329	233	179	162	243	287	359	3,717
令和2年	387	325	384	248	137	101	102	104	97	69	71	95	2,120
令和3年	101	101	88	73	77	78	74	71	42	29	43	35	812
令和4年	44	34	16	20	21	40	50	21	11	17	22	22	318
令和5年	37	58	34	94	142	267	243	187	219	326	769	759	3,135



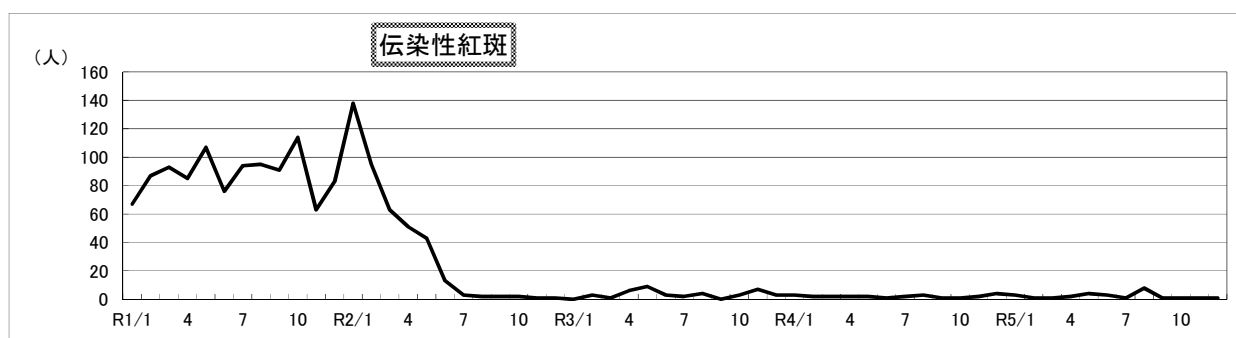
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	1,316	1,309	1,179	1,048	1,057	962	723	609	506	645	575	983	10,912
令和2年	1,567	1,147	733	415	380	321	377	392	454	300	263	300	6,649
令和3年	647	653	719	530	925	585	390	434	554	379	576	1,178	7,570
令和4年	1,609	914	801	760	1,154	1,169	669	418	376	298	292	374	8,834
令和5年	758	2,007	1,183	965	710	1,249	698	504	684	469	661	1,125	11,013



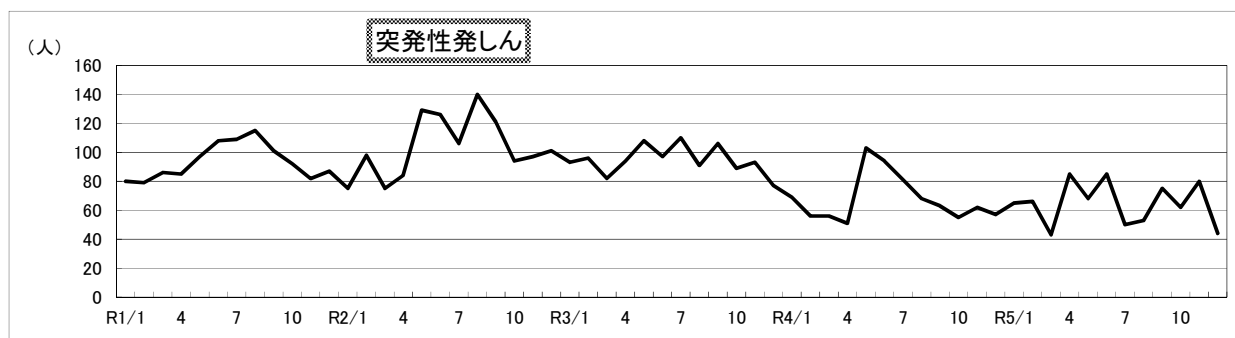
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	82	29	35	26	42	46	30	53	17	28	48	52	488
令和2年	78	52	54	30	22	18	12	13	26	12	16	18	351
令和3年	24	18	16	16	12	17	8	7	18	19	18	17	190
令和4年	20	8	3	17	18	12	24	6	8	14	6	5	141
令和5年	9	12	5	15	22	30	5	12	14	15	14	25	178



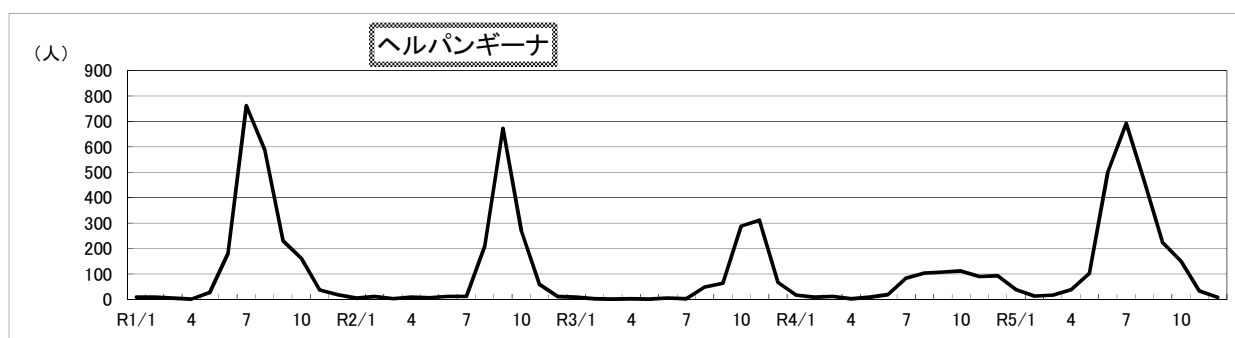
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	35	39	38	27	60	474	2,425	2,159	604	384	201	125	6,571
令和2年	65	44	18	11	13	17	15	51	45	23	4	6	312
令和3年	7	1	1	3	6	11	11	22	121	834	814	274	2,105
令和4年	97	36	4	3	12	14	53	122	154	182	86	134	897
令和5年	50	17	2	6	10	155	431	562	414	322	151	63	2,183



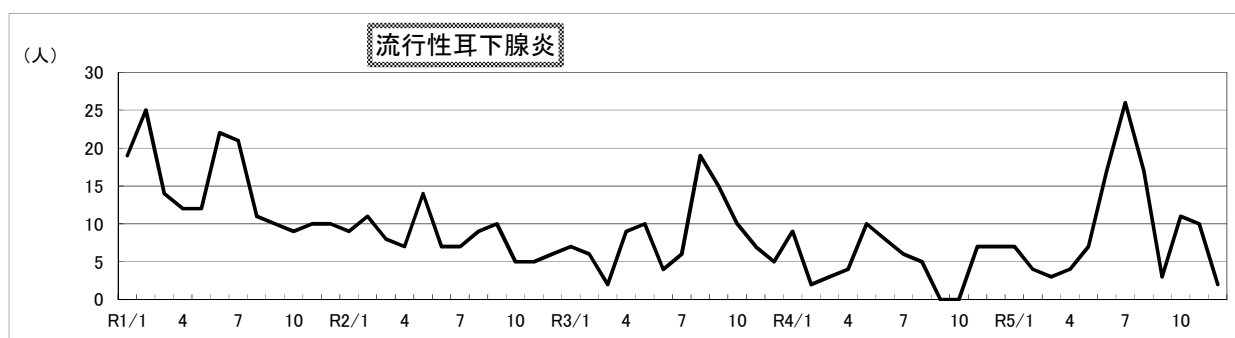
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	67	87	93	85	107	76	94	95	91	114	63	83	1,055
令和2年	138	95	63	51	43	13	3	2	2	2	1	1	414
令和3年	0	3	1	6	9	3	2	4	0	3	7	3	41
令和4年	3	2	2	2	2	1	2	3	1	1	2	4	25
令和5年	3	1	1	2	4	3	1	8	1	1	1	1	27



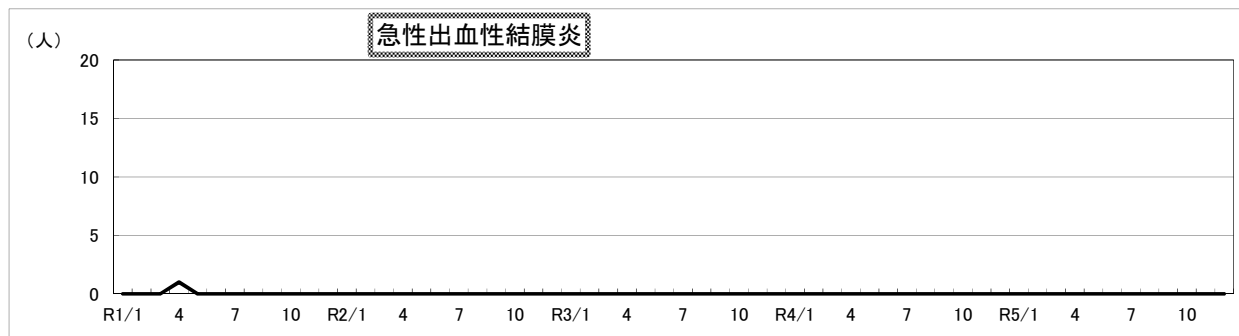
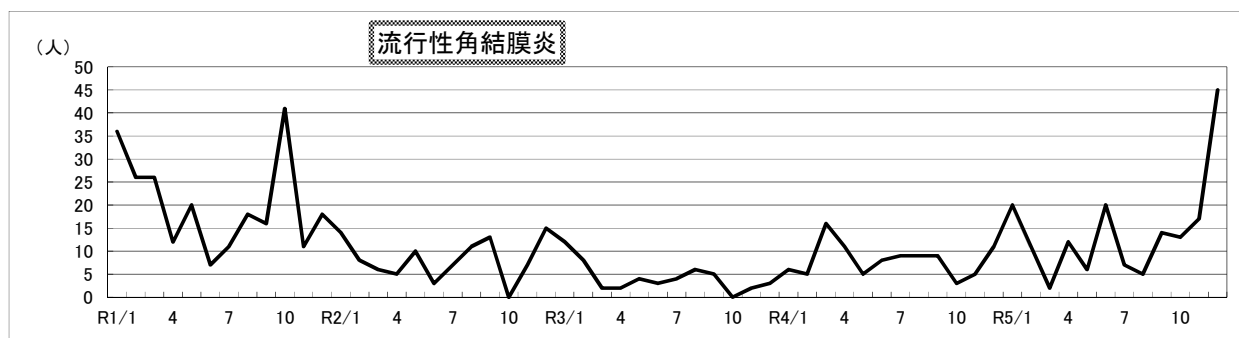
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	80	79	86	85	97	108	109	115	101	92	82	87	1,121
令和2年	75	98	75	84	129	126	106	140	121	94	97	101	1,246
令和3年	93	96	82	94	108	97	110	91	106	89	93	77	1,136
令和4年	69	56	56	51	103	94	81	68	63	55	62	57	815
令和5年	65	66	43	85	68	85	50	53	75	62	80	44	776



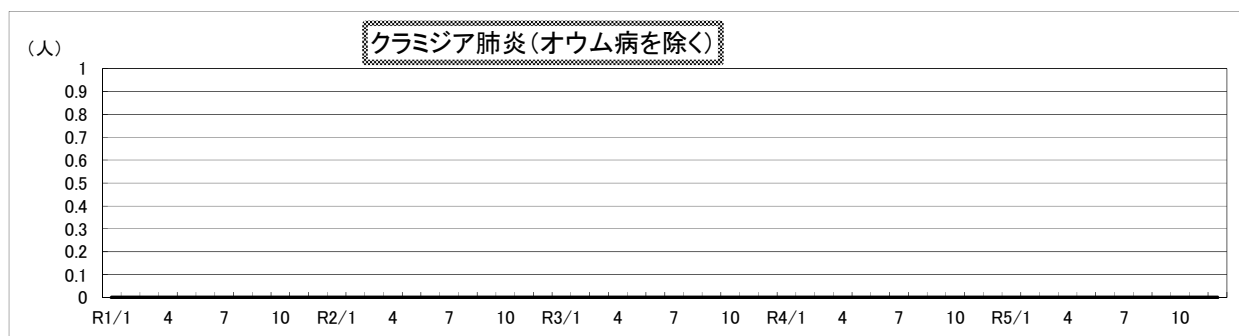
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	8	8	5	1	27	180	762	588	231	161	37	18	2,026
令和2年	5	11	3	8	7	12	12	208	673	269	59	11	1,278
令和3年	8	2	1	2	1	6	2	48	63	288	312	67	800
令和4年	17	8	12	2	8	19	84	104	107	112	90	93	656
令和5年	38	13	17	38	103	501	692	463	222	149	33	8	2,277

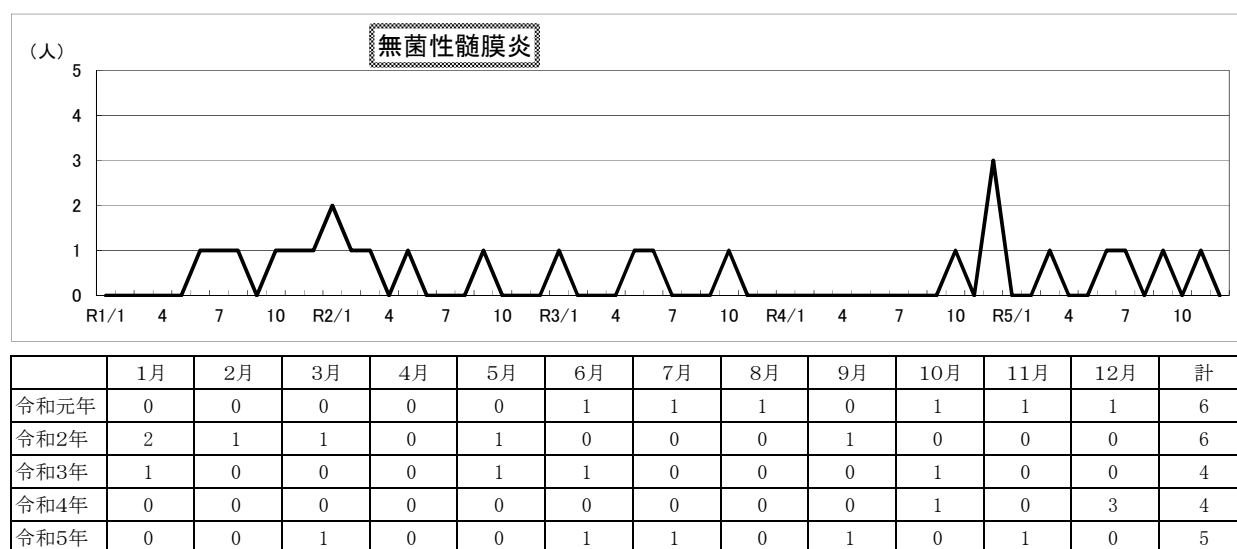
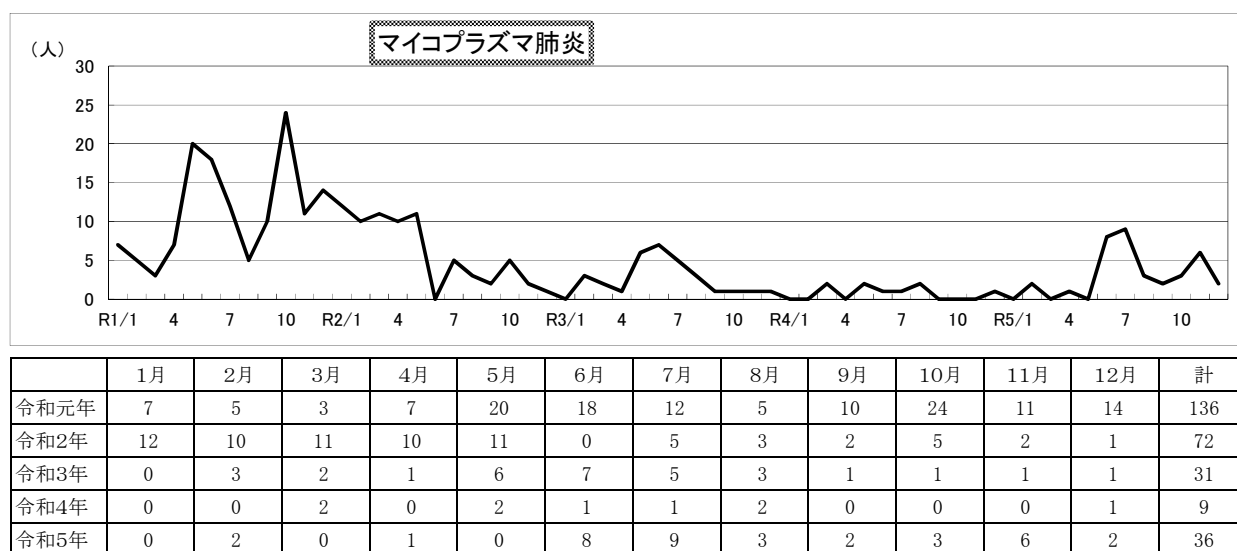


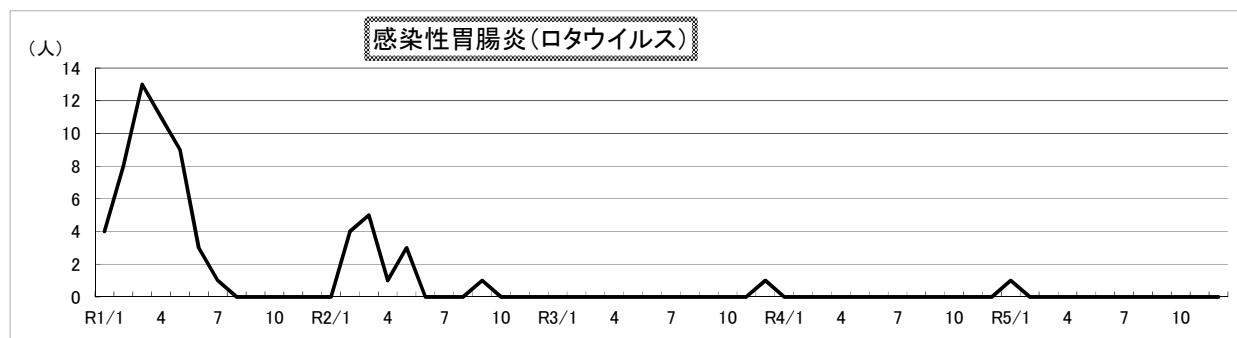
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	19	25	14	12	12	22	21	11	10	9	10	10	175
令和2年	9	11	8	7	14	7	7	9	10	5	5	6	98
令和3年	7	6	2	9	10	4	6	19	15	10	7	5	100
令和4年	9	2	3	4	10	8	6	5	0	0	7	7	61
令和5年	7	4	3	4	7	17	26	17	3	11	10	2	111

[illegible]

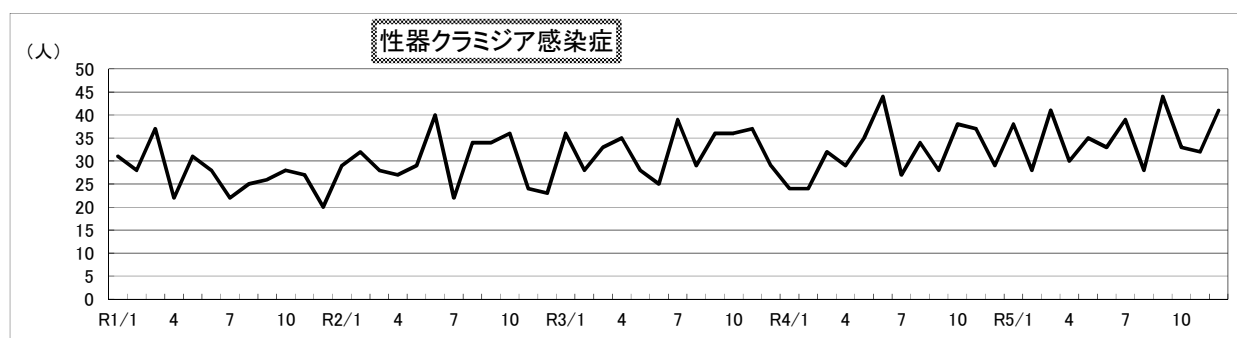
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	36	26	26	12	20	7	11	18	16	41	11	18	242
令和2年	14	8	6	5	10	3	7	11	13	0	7	15	99
令和3年	12	8	2	2	4	3	4	6	5	0	2	3	51
令和4年	6	5	16	11	5	8	9	9	9	3	5	11	97
令和5年	20	11	2	12	6	20	7	5	14	13	17	45	172

[illegible]

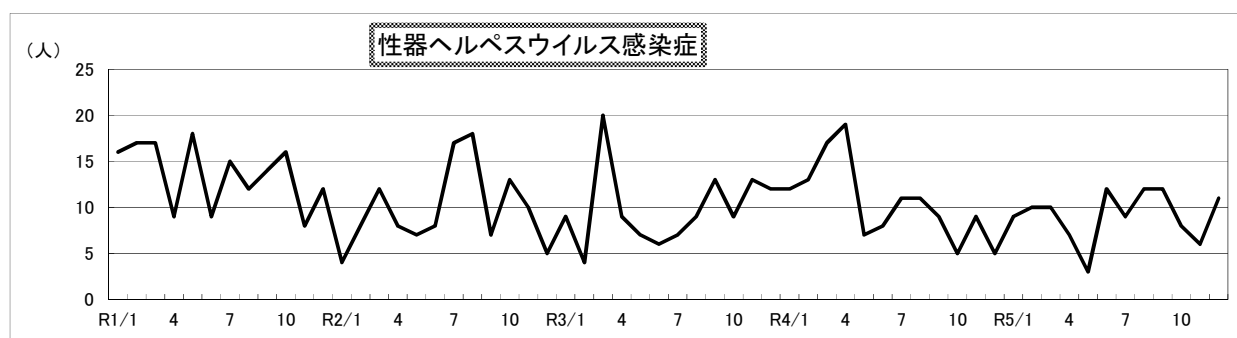




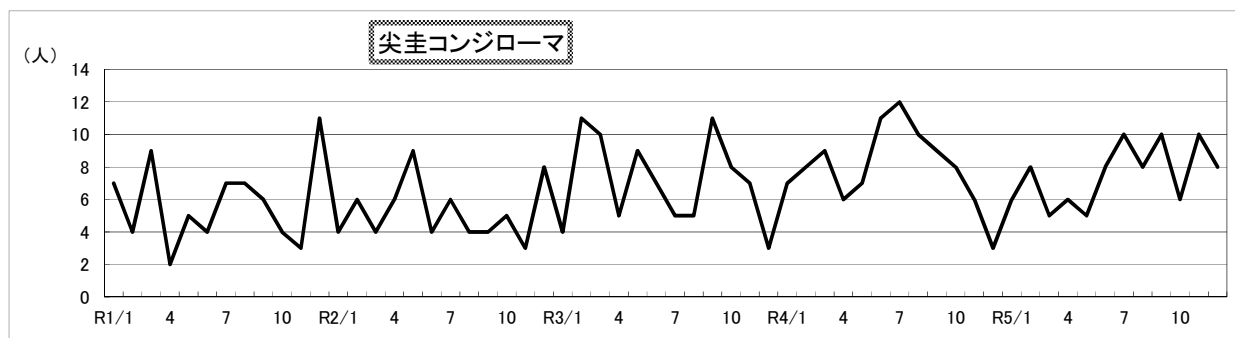
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	4	8	13	11	9	3	1	0	0	0	0	0	49
令和2年	0	4	5	1	3	0	0	0	1	0	0	0	14
令和3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
令和4年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1



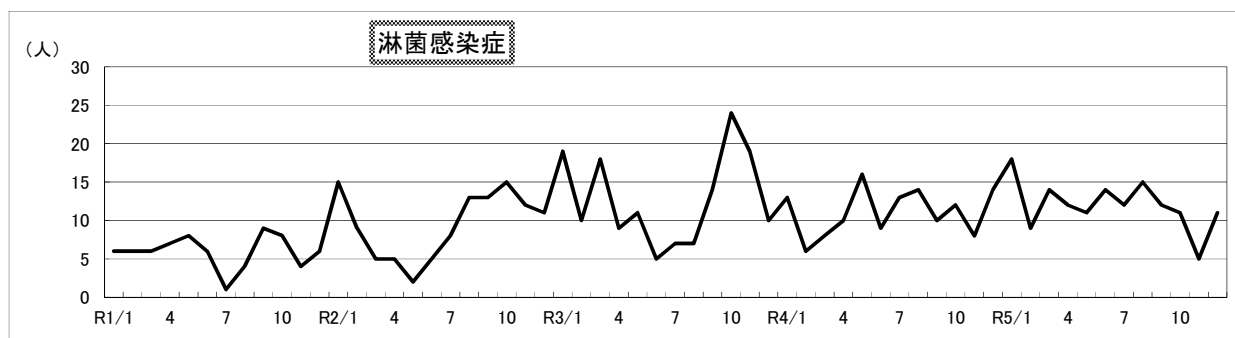
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	31	28	37	22	31	28	22	25	26	28	27	20	325
令和2年	29	32	28	27	29	40	22	34	34	36	24	23	358
令和3年	36	28	33	35	28	25	39	29	36	36	37	29	391
令和4年	24	24	32	29	35	44	27	34	28	38	37	29	381
令和5年	38	28	41	30	35	33	39	28	44	33	32	41	422



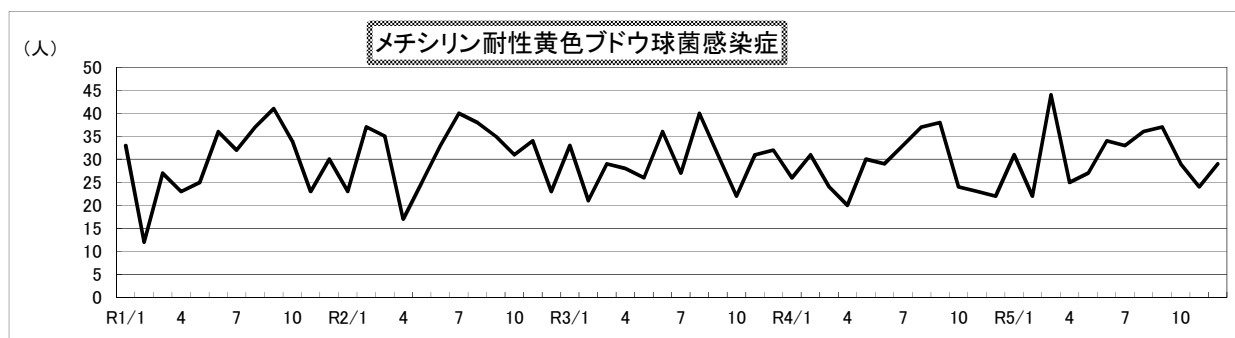
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	16	17	17	9	18	9	15	12	14	16	8	12	163
令和2年	4	8	12	8	7	8	17	18	7	13	10	5	117
令和3年	9	4	20	9	7	6	7	9	13	9	13	12	118
令和4年	12	13	17	19	7	8	11	11	9	5	9	5	126
令和5年	9	10	10	7	3	12	9	12	12	8	6	11	109



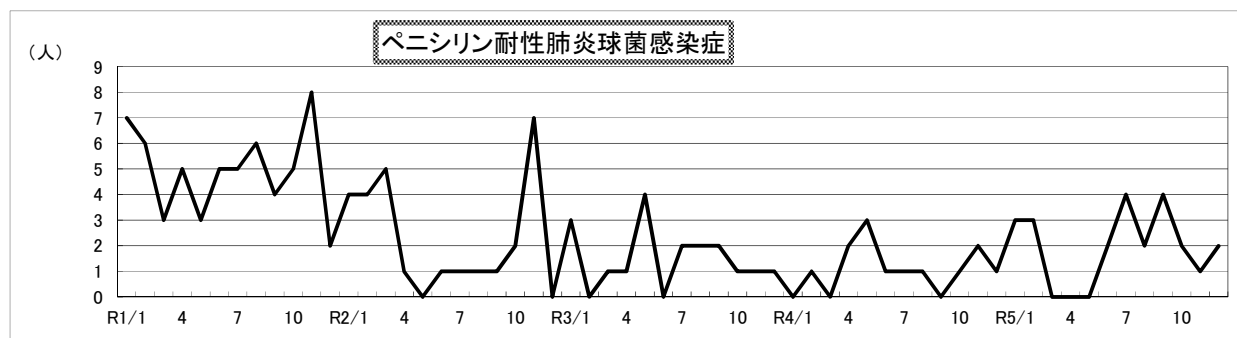
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	7	4	9	2	5	4	7	7	6	4	3	11	69
令和2年	4	6	4	6	9	4	6	4	4	5	3	8	63
令和3年	4	11	10	5	9	7	5	5	11	8	7	3	85
令和4年	7	8	9	6	7	11	12	10	9	8	6	3	96
令和5年	6	8	5	6	5	8	10	8	10	6	10	8	90



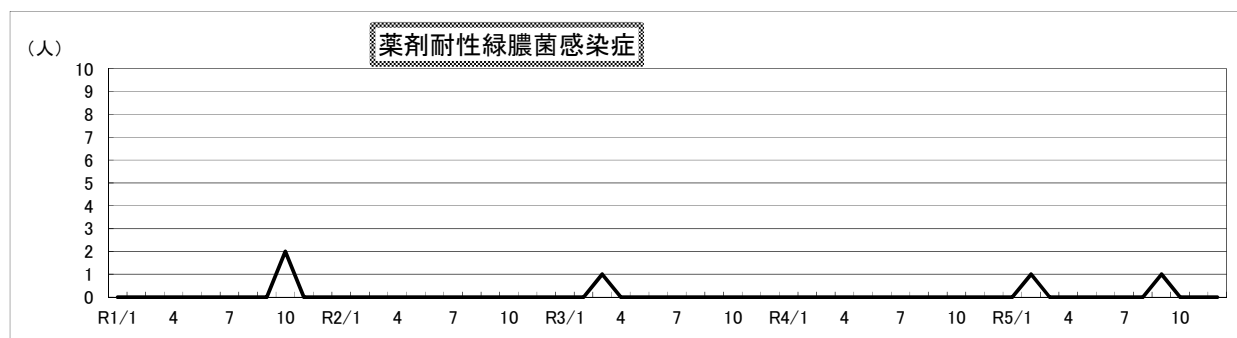
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	6	6	6	7	8	6	1	4	9	8	4	6	71
令和2年	15	9	5	5	2	5	8	13	13	15	12	11	113
令和3年	19	10	18	9	11	5	7	7	14	24	19	10	153
令和4年	13	6	8	10	16	9	13	14	10	12	8	14	133
令和5年	18	9	14	12	11	14	12	15	12	11	5	11	144



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	33	12	27	23	25	36	32	37	41	34	23	30	353
令和2年	23	37	35	17	25	33	40	38	35	31	34	23	371
令和3年	33	21	29	28	26	36	27	40	31	22	31	32	356
令和4年	26	31	24	20	30	29	33	37	38	24	23	22	337
令和5年	31	22	44	25	27	34	33	36	37	29	24	29	371



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	7	6	3	5	3	5	5	6	4	5	8	2	59
令和2年	4	4	5	1	0	1	1	1	1	2	7	0	27
令和3年	3	0	1	1	4	0	2	2	2	1	1	1	18
令和4年	0	1	0	2	3	1	1	1	0	1	2	1	13
令和5年	3	3	0	0	0	2	4	2	4	2	1	2	23



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
令和2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
令和4年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

6. 各月の小児科定点からの病原体・抗体価確認例等集計表

2023年1月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第50週	第51週	第52週	第1週	第2週	合計
	12/12-12/18	12/19-12/25	12/26-1/1	1/2-1/8	1/9-1/15	
カンピロバクター腸炎	5	1	2	3	1	12
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	2	4	1	1	2	10
サルモネラ腸炎	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	2	3	1	0	0	6
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	2	2	0	1	1	6
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	7	16	25	12	47	107
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	14	15	13	3	10	55
クラミジア呼吸器感染症	1	0	0	0	0	1
ヒトメタニューモウイルス 感染症	98	66	38	25	11	238

臨床診断例

	第50週	第51週	第52週	第1週	第2週	合計
	12/12-12/18	12/19-12/25	12/26-1/1	1/2-1/8	1/9-1/15	
ヘルペス歯肉口内炎	0	1	2	0	0	3
川崎病	0	0	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年1月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	0	6	0	0	1	0	2	3	12
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	9	0	0	0	0	0	1	10
サルモネラ腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	1	0	0	0	0	2	0	1	2	6
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	0	0	0	5	0	0	1	6
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	25	1	2	1	5	47	1	4	21	107
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	5	1	7	4	8	12	1	3	14	55
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ヒトメタニューモウイルス 感染症	90	1	31	26	0	25	9	3	53	238

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年2月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	合計
	1/16-1/22	1/23-1/29	1/30-2/5	2/6-2/12	2/13-2/19	
カンピロバクター腸炎	3	4	3	3	5	18
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	6	3	2	2	4	17
サルモネラ腸炎	0	0	1	0	1	2
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	1	1	0	1	3
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	1	5	9	4	4	23
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	65	52	69	76	65	327
マイコプラズマ肺炎	0	4	0	0	2	6
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	14	13	12	11	16	66
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	16	20	12	7	18	73

臨床診断例

	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	合計
	1/16-1/22	1/23-1/29	1/30-2/5	2/6-2/12	2/13-2/19	
ヘルペス歯肉口内炎	0	1	2	1	2	6
川崎病	0	0	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年2月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	0	3	1	1	0	0	2	11	18
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	1	14	1	0	0	0	0	1	17
サルモネラ腸炎	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	1	1	0	6	5	1	9	23
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	44	1	9	1	17	137	6	1	111	327
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	4	2	0	0	6
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	2	3	8	7	4	20	6	4	12	66
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	38	0	11	1	2	8	9	0	4	73

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	0	0	2	3	0	1	6
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年3月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第8週	第9週	第10週	合計
	2/20-2/26	2/27-3/5	3/6-3/12	
カンピロバクター腸炎	0	2	2	4
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	11	9	6	26
サルモネラ腸炎	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	1	0	1
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	4	2	2	8
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	53	34	41	128
マイコプラズマ肺炎	0	0	1	1
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	11	15	15	41
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	7	10	7	24

臨床診断例

	第8週	第9週	第10週	合計
	2/20-2/26	2/27-3/5	3/6-3/12	
ヘルペス歯肉口内炎	1	2	3	6
川崎病	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年3月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	0	0	0	0	3	0	0	1	4
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	23	0	0	0	0	0	3	26
サルモネラ腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	0	0	0	0	1	0	7	8
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	22	1	6	2	13	37	1	1	45	128
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	1	2	5	5	1	8	2	1	16	41
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	7	0	0	0	2	12	1	0	2	24

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	1	1	0	0	1	0	2	1	6
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年4月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第11週	第12週	第13週	第14週	第15週	合計
	3/13-3/19	3/20-3/26	3/27-4/2	4/3-4/9	4/10-4/16	
カンピロバクター腸炎	4	2	7	7	1	21
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	2	3	3	4	4	16
サルモネラ腸炎	0	1	1	0	1	3
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	1	2	1	0	4
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	22	15	10	10	10	67
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	24	17	15	18	19	93
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	15	26	27	12	18	98

臨床診断例

	第11週	第12週	第13週	第14週	第15週	合計
	3/13-3/19	3/20-3/26	3/27-4/2	4/3-4/9	4/10-4/16	
ヘルペス歯肉口内炎	2	0	1	0	0	3
川崎病	0	0	1	0	0	1

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年4月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	0	2	0	3	1	0	0	15	21
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	12	1	0	0	0	0	3	16
サルモネラ腸炎	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	10	0	1	2	8	23	2	0	21	67
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	10	3	15	1	3	31	3	4	23	93
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	4	0	3	3	0	83	0	0	5	98

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年5月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第16週	第17週	第18週	第19週	合計
	4/17-4/23	4/24-4/30	5/1-5/7	5/8-5/14	
カンピロバクター腸炎	1	3	1	3	8
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	2	4	0	6	12
サルモネラ腸炎	0	0	1	0	1
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	2	2	5	0	9
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	3	8	4	3	18
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	17	12	11	32	72
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	11	24	14	12	61

臨床診断例

	第16週	第17週	第18週	第19週	合計
	4/17-4/23	4/24-4/30	5/1-5/7	5/8-5/14	
ヘルペス歯肉口内炎	1	0	0	1	2
川崎病	0	0	0	3	3

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年5月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	0	1	0	1	0	0	0	6	8
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	10	0	0	0	0	0	2	12
サルモネラ腸炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	5	0	0	0	0	2	2	9
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	4	0	0	0	2	4	0	1	7	18
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	3	0	25	3	1	21	2	5	12	72
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	8	0	3	16	0	17	0	0	17	61

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
川崎病	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年6月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第20週	第21週	第22週	第23週	第24週	合計
	5/15-5/21	5/22-5/28	5/29-6/4	6/5-6/11	6/12-6/18	
カンピロバクター腸炎	2	4	0	3	2	11
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	2	0	0	0	2
病原大腸菌腸炎 VT(-)	4	5	3	5	5	22
サルモネラ腸炎	1	0	1	0	9	11
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	5	1	1	7	1	15
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	7	5	3	0	3	18
マイコプラズマ肺炎	0	1	0	0	4	5
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	23	44	48	47	38	200
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	7	32	38	26	22	125

臨床診断例

	第20週	第21週	第22週	第23週	第24週	合計
	5/15-5/21	5/22-5/28	5/29-6/4	6/5-6/11	6/12-6/18	
ヘルペス歯肉口内炎	2	1	0	0	0	3
川崎病	3	0	0	0	0	3

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年6月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	0	4	0	2	0	0	0	5	11
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	16	1	0	0	0	0	5	22
サルモネラ腸炎	0	0	0	0	0	2	0	0	9	11
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	3	1	0	0	0	5	0	1	5	15
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	6	0	1	0	2	0	0	2	7	18
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	0	0	0	0	3	1	5
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	8	3	66	15	9	43	3	1	52	200
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	3	0	22	3	1	78	0	0	18	125

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年7月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第25週	第26週	第27週	第28週	合計
	6/19-6/25	6/26-7/2	7/3-7/9	7/10-7/16	
カンピロバクター腸炎	4	1	4	3	12
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	6	8	2	4	20
サルモネラ腸炎	1	0	0	1	2
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	1	0	0	0	1
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	1	0	0	1	2
マイコプラズマ肺炎	2	2	0	2	6
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	40	32	24	16	112
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	29	73	73	127	302

臨床診断例

	第25週	第26週	第27週	第28週	合計
	6/19-6/25	6/26-7/2	7/3-7/9	7/10-7/16	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	1	1
川崎病	0	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年7月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	1	1	3	0	1	1	0	1	4	12
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	18	0	0	0	0	0	2	20
サルモネラ腸炎	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
マイコプラズマ肺炎	2	0	0	0	0	0	0	4	0	6
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	6	0	30	9	9	22	2	2	32	112
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	51	0	82	0	20	64	0	3	82	302

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年8月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第29週	第30週	第31週	第32週	合計
	7/17-7/23	7/24-7/30	7/31-8/6	8/7-8/13	
カンピロバクター腸炎	1	2	1	1	5
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	2	5	0	6	13
サルモネラ腸炎	1	0	1	3	5
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	0	2	2
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	1	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	2	3	0	5
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	12	11	7	9	39
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	111	146	156	74	487

臨床診断例

	第29週	第30週	第31週	第32週	合計
	7/17-7/23	7/24-7/30	7/31-8/6	8/7-8/13	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	1	1	2
川崎病	1	2	1	1	5

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年8月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	0	1	1	0	0	0	2	1	5
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	11	1	0	0	0	0	1	13
サルモネラ腸炎	0	0	1	0	1	1	0	0	2	5
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	2	0	4	3	3	9	3	0	15	39
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	74	0	93	11	19	117	0	4	169	487

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
川崎病	0	0	0	0	0	1	1	0	3	5

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年9月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週	合計
	8/14-8/20	8/21-8/27	8/28-9/3	9/4-9/10	9/11-9/17	
カンピロバクター腸炎	0	3	2	3	1	9
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	2	5	4	4	3	18
サルモネラ腸炎	1	1	1	0	1	4
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	1	0	0	1
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	2	5	1	8
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	1	2	6	0	0	9
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	0	0	1
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	11	18	29	44	42	144
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	89	72	102	88	79	430

臨床診断例

	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週	合計
	8/14-8/20	8/21-8/27	8/28-9/3	9/4-9/10	9/11-9/17	
ヘルペス歯肉口内炎	0	2	0	0	0	2
川崎病	1	1	0	0	0	2

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年9月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	1	2	0	0	0	0	1	5	9
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	17	0	0	0	0	0	1	18
サルモネラ腸炎	0	0	3	0	0	0	0	0	1	4
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	2	0	0	0	0	0	0	0	6	8
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	0	0	0	0	1	7	0	0	1	9
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	4	9	25	2	4	61	1	0	38	144
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	47	1	137	3	23	59	7	30	123	430

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年10月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第38週	第39週	第40週	第41週	合計
	9/18-9/24	9/25-10/1	10/2-10/8	10/9-10/15	
カンピロバクター腸炎	1	0	1	0	2
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	1	0	0	1
病原大腸菌腸炎 VT(-)	4	6	3	3	16
サルモネラ腸炎	2	3	0	0	5
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	2	14	1	17
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	2	0	1	1	4
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	101	103	109	98	411
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	68	41	34	22	165

臨床診断例

	第38週	第39週	第40週	第41週	合計
	9/18-9/24	9/25-10/1	10/2-10/8	10/9-10/15	
ヘルペス歯肉口内炎	0	3	3	0	6
川崎病	0	0	0	1	1

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年10月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	15	0	1	0	0	0	0	16
サルモネラ腸炎	0	1	1	0	0	0	0	0	3	5
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	1	0	0	1	0	0	15	17
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	0	0	0	0	0	3	0	0	1	4
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	8	12	65	2	21	183	0	0	120	411
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	15	4	35	9	13	11	9	13	56	165

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	1	1	0	1	0	0	1	2	6
川崎病	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年11月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週	合計
	10/16-10/22	10/23-10/29	10/30-11/5	11/6-11/12	11/13-11/19	
カンピロバクター腸炎	2	1	1	3	3	10
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	1	0	0	1
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	1	1	6	2	10
サルモネラ腸炎	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	1	0	0	1
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	1	1	0	3	1	6
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	4	4	1	8	2	19
マイコプラズマ肺炎	1	10	2	1	2	16
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	130	146	215	287	320	1098
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	19	9	4	9	11	52

臨床診断例

	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週	合計
	10/16-10/22	10/23-10/29	10/30-11/5	11/6-11/12	11/13-11/19	
ヘルペス歯肉口内炎	2	2	2	0	1	7
川崎病	2	0	0	1	0	3

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年11月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	1	2	0	1	1	0	1	4	10
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	1	5	4	0	0	0	0	0	10
サルモネラ腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	1	0	0	0	0	1	0	0	4	6
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	0	0	0	0	0	1	0	0	18	19
マイコプラズマ肺炎	3	0	1	0	0	11	0	0	1	16
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	17	15	163	34	89	496	6	8	270	1098
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	2	0	18	5	1	3	1	12	10	52

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	1	0	0	0	0	4	0	0	2	7
川崎病	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年12月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第47週	第48週	第49週	第50週	合計
	11/20-11/26	11/27-12/3	12/4-12/10	12/11-12/17	
カンピロバクター腸炎	1	6	2	0	9
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	2	2	2	5	11
サルモネラ腸炎	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	0	3	3
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	12	15	35	53	115
マイコプラズマ肺炎	0	0	3	0	3
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	287	311	314	358	1270
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	5	7	7	3	22

臨床診断例

	第47週	第48週	第49週	第50週	合計
	11/20-11/26	11/27-12/3	12/4-12/10	12/11-12/17	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	1	1
川崎病	0	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2023年12月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	0	0	2	0	0	0	0	1	6	9
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	9	0	0	0	0	0	2	11
サルモネラ腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	2	0	1	1	14	54	0	1	42	115
マイコプラズマ肺炎	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	48	19	213	65	144	428	8	14	331	1270
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	1	0	4	0	13	3	0	1	0	22

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。